

流域治水プロジェクトのとりまとめ状況

流域治水プロジェクトのとりまとめ状況

- 中部地方整備局管内の13水系15河川16プロジェクトのうち、3月25日時点で9つのプロジェクトがとりまとめられている状況

協議会	とりまとめ (予定含む)	
狩野川流域治水協議会	3月25日	
安倍川流域治水協議会	3月19日	済
大井川流域治水協議会	3月19日	済
菊川流域治水協議会	3月29日	
天竜川(下流)流域治水協議会	3月29日	
天竜川(上流)流域治水協議会	3月4日	済
豊川流域治水協議会	3月25日	済

協議会	とりまとめ (予定含む)	
矢作川流域治水協議会	3月26日	
庄内川流域治水協議会	3月25日	済
木曾川水系流域治水協議会	3月29日	
鈴鹿川流域治水協議会	3月16日	済
雲出川流域治水協議会	3月16日	済
櫛田川流域治水協議会	3月16日	済
宮川流域治水協議会	3月16日	済

※ 3月25日時点

代表事例紹介

庄内川水系流域治水プロジェクト
令和3年3月25日とりまとめ（案）

庄内川水系流域治水プロジェクト 令和3年3月25日とりまとめ（案）

庄内川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～ 令和3年3月25日とりまとめ(案)

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄内川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 日本経済を支える産業集積地域である反面、日本一のゼロメートル地帯を有する流域であり、水害リスクが高い流域であることから、橋梁改築(狭窄部対策)や公園等を活用した高台の整備、地下空間・地区タイムラインの作成・周知等を実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、観測史上最大となった平成12年9月洪水(東海豪雨)および平成元年9月洪水と同規模の洪水が発生しても安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



土岐川圏域
【岐阜県】
土岐川・肥田川・小里川等の堤防整備、河道掘削等

- **氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**
 - ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、洗堀分派対策、放水路整備
 - ・用排水路の改修
 - ・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策
 - ・流出抑制対策
(既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築(関係者:国、土岐川防災ダム一部事務組合など)、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備、森林保全等)
 - ・土砂災害対策
(砂防施設の整備、治山施設の整備等)
 - ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルール検討等)

- **被害対象を減少させるための対策**
 - ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導等)
 - ・浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
(浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布等)

- **被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**
 - ・早期復旧に備えた対策
(防災拠点の整備、緊急河川敷道路の整備、大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用等)
 - ・被害軽減対策
(公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、水位周知下水道の指定・運用、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、水害リスク空白域の解消、土砂災害警戒区域等の指定・周知等)
 - ・住民の主体的な避難行動を促す取組
(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組等)
 - ・ソフト対策のための整備
(危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設等)



新川圏域
【愛知県】
新川・五条川・地藏川等の堤防整備、河道掘削、ポンプ場の新設・増強、洪水調節池の整備等

庄内川上流圏域
【愛知県・名古屋市】
八田川、矢田川等の堤防整備、河道掘削等

堀川圏域
【名古屋市】
堀川等の堤防整備、河道掘削等

凡例

- 流域界
- 県境
- 市町境
- 大臣管理区間
- 堤防整備・堤防強化
- 河道掘削・樹木伐採・低水護岸
- 橋梁改築
- ポンプ場の新設・増強



※大臣管理区間以外は、県・政令市管理河川の代表的な箇所(河川)を示したものである。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
 ※上記の対策は代表的な事例を記載している。

庄内川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ・効果】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

令和3年3月25日とりまとめ(案)

● 庄内川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】

- ・氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として、狭窄部下流で水位低下を目的とした河道掘削や雨水排水網の整備等により、清須市や名古屋市下流部で浸水深・浸水面積の減少を図る。
- ・被害対象を減少させるための対策として、浸水防止堀設置の支援や立地適正化計画への防災指針の位置づけ等を推進する。
- ・被害の軽減、早期復旧・復興のための対策として、公園等を活用した高台の整備や水害リスク空白域の解消に向けた中小河川における浸水想定区域の指定を推進する。

【中期】

- ・短期に引き続き、狭窄部対策(橋梁改築(JR新幹線橋等3橋))等により、名古屋市下流部での浸水被害の解消を図るとともに、防災指針等を踏まえ、構成員が一体となり水害リスクの低い地域への居住誘導の推進や、中小河川における浸水想定区域のハザードマップへの反映等を行う。

【中長期】

- ・さらに、洗堰分派対策や狭窄部上流の河道掘削等により、中下流域の浸水被害解消を図るとともに、被害対象を減少させるための対策、被害の軽減、早期復旧・復興のための対策についても引き続き実施し、流域全体の安全度向上を図る。

【協議会構成機関、オブザーバー】

■構成機関

多治見市、瑞浪市、恵那市、土岐市、名古屋市、一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、長久手市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、岐阜県(県土整備部、都市建築部、林政部)、愛知県(建設局、農林基盤局)、農林水産省 東海農政局、林野庁 中部森林管理局、多治見砂防国道事務所、庄内川河川事務所

■オブザーバー

国土交通省 中部地方整備局 建設部・河川部、気象庁 名古屋地方気象台、地方共同法人 日本下水道事業団 事業統括部、中部電力株式会社 事業創造本部、中日本高速道路株式会社 名古屋支社 名古屋保全・サービスセンター、名古屋高速道路公社 総務部、岐阜県 農政部、森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

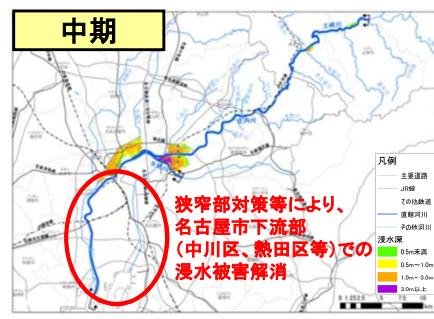
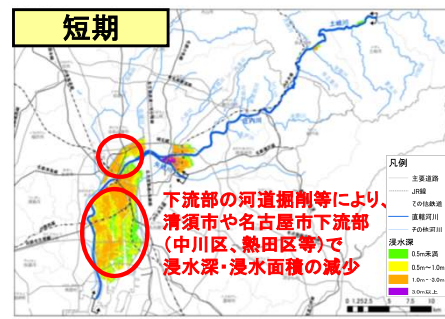
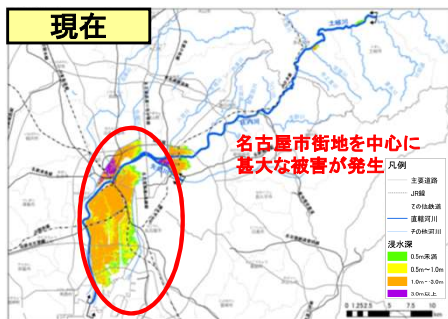
区分	主な対策内容	実施主体	短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県・市町			狭窄部下流の多治見市街地等をまもる河道掘削
	橋梁改築(狭窄部対策)	庄内川河川事務所 愛知県・名古屋市 東海旅客鉄道株式会社※2		狭窄部下流の名古屋市街地等をまもる河道掘削	国道枇杷島橋完成
	洗堰分派対策	庄内川河川事務所			洗堰分派対策完成
	用排水路の改修	東海農政局・愛知県			用排水路の改修
	雨水排水網、ポンプ場、貯留管等	愛知県・市町	事前放流等の実施		
	既存ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	庄内川河川事務所 土岐川防災ダム一節事務組合(瑞浪市)			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画への防災指針の位置づけ	市町		立地適正化計画への防災指針の位置づけ(多治見市)	居住誘導の推進
	水害リスクの低い地域への居住誘導	市町			
	浸水防止堀設置の支援	市町		土のうの事前配布(春日井市)	
	出水期前に希望する市民への土のうの事前配布	市町		浸水防止堀設置の支援(扶桑町)	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	公園等を活用した高台の整備	市町		高台の整備(名古屋市)	
	大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用	庄内川河川事務所 中日本高速道路(株) 名古屋支社名古屋保全・サービスセンター※1 名古屋高速道路公社※1		関係機関の連携強化(多治見市)	地下空間タイムラインの周知・フォローアップ(名古屋市)
	地下空間・地区タイムラインの作成・周知	庄内川河川事務所 愛知県・岐阜県・市町			
	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	市町		避難確保計画の作成	中小河川における浸水想定区域の指定
	水害リスク空白域の解消	岐阜県・愛知県・市町			
	危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設	市町			危機管理型水位計・監視カメラの設置(土岐市)

※1:実施主体ではないが、オブザーバーとして連携する機関

※2:実施主体ではないが、連携する機関

※3:各対策による旗揚げでは、代表的な市町名を記載

【効果】



※対象外力は、整備計画目標流量を想定しており、下流域は平成12年9月洪水(東海豪雨)、上流域は平成元年9月洪水を対象としている。
 ※中長期について、上流域の外力を平成12年9月洪水(東海豪雨)とした場合は、浸水被害解消となる。
 ※上記浸水図の効果は、直轄区間の河川整備(堤防整備等)の効果を示している。

庄内川水系流域治水プロジェクト (各圏域版)

土岐川圏域 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P2

新川圏域 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P5

庄内川上流圏域 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P9

堀川圏域 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ P12

庄内川水系流域治水プロジェクト【土岐川圏域1/3】

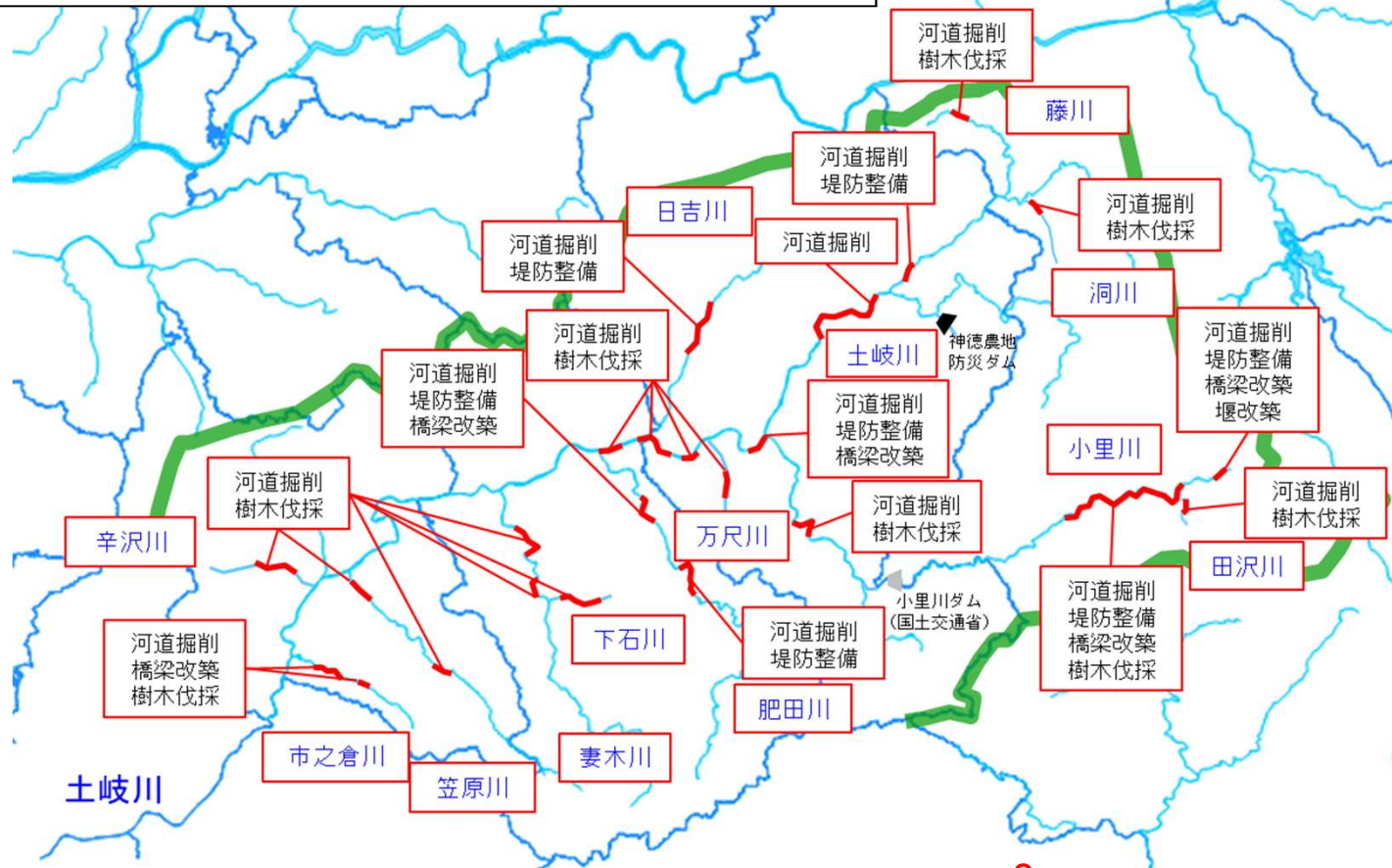
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

土岐川圏域

- 土岐川（小里川合流点より下流）、日吉川、小里川は、平成元年9月洪水と同規模の洪水を安全に流すことを目指す。（土岐川の小里川合流点より上流では平成11年6月洪水と同規模の洪水を対象）
- 市之倉川、笠原川、肥田川は、主要洪水（昭和58年9月洪水、平成元年9月洪水、平成11年6月洪水）や平成12年9月洪水（東海豪雨）のような局地性豪雨による洪水を安全に流すことを目指す。



河川整備の状況（河道掘削・堤防整備）【小里川】



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 堤防整備、河道掘削、橋梁改築
- ・ 流出抑制対策
（既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築、貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援、ため池等の活用、森林保全）
- ・ 内水被害軽減対策
（雨水排水網の新設・増強）
- ・ 土砂災害対策
（砂防施設の整備、治山施設の整備）

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
（立地適正化計画への防災指針の位置付け）

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 被害軽減対策
（広域避難計画の策定、地下空間・地区タイムラインの作成・周知、要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、関係機関との連携強化、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知）
- ・ 住民の主体的な避難行動を促す取組
（避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組）
- ・ ソフト対策のための整備
（危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設）

庄内川水系流域治水プロジェクト【土岐川圏域2/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

土岐川 圏域

区分	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中・長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁改築	岐阜県 多治見市 土岐市 瑞浪市 恵那市	一般河川での実施(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)	普通河川の河道掘削の実施(多治見市)	一般河川での実施(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)	
			普通河川の河道掘削の実施(多治見市)	普通河川の河道掘削の実施(土岐市)	普通河川の河道掘削の実施(多治見市)	
	流出抑制対策	既設2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	瑞浪市	検査・設計等	検査・設計等	土岐運橋の架替え(土岐市)
				雨水貯留施設の整備(多治見市)	雨水貯留施設の整備(多治見市)	雨水貯留施設の整備(多治見市)
		民間開発による貯留施設設置指導	多治見市 土岐市 瑞浪市	要綱等見直し(土岐市)		
				雨水貯留施設設置補助交付(多治見市)		
		各家庭等における雨水貯留浸透施設設置への支援	多治見市			
				ため池等の活用	ため池等の事前放流や貯水活用の開始(土岐市)	
	森林保全	岐阜県 土岐市 恵那市				
			雨水排水網の新設・増強	雨水排水網の新設・増強		
土砂災害対策	岐阜県 土岐市	岐阜県 土岐市 恵那市	砂防施設の整備(砂防関係施設の整備)	砂防施設の整備(砂防関係施設の整備)	砂防施設の整備(砂防関係施設の整備)	
			治山施設の整備	治山施設の整備(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)		
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画への防災指針の位置付け	多治見市 瑞浪市	立地適正化計画への防災指針の位置付け(多治見市・瑞浪市)			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	岐阜県	広域避難計画の策定			
			地下空間・地区タイムラインの作成・周知	タイムラインの運用・住民周知・見直しの実施(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)	地区タイムライン・自治会タイムラインの作成支援(多治見市・恵那市)	
		多治見市・土岐市 瑞浪市・恵那市	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)		
			関係機関との連携強化	土岐川流域新五流総地域委員会	浸水対策協議会(多治見市)	
		多治見市・土岐市 瑞浪市・恵那市	ハザードマップの更新	ハザードマップの更新・防災訓練等を通じた活用(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)		
			土砂災害警戒区域等の指定・周知			
	住民の主体的な避難行動を促す取組	岐阜県 多治見市・土岐市	避難場所や経路等に関する情報の周知	空地建物取引業協会等を通じ、土地等の購入時における水災害リスク情報の提供		
			分かりやすい教材等を用いた防災教育	防災教育の実施		
		多治見市 土岐市 瑞浪市	ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	水防訓練の実施(多治見市)	住民と連携した点検及び操作訓練の実施(土岐市)	マイタイムライン作成の促進(瑞浪市)
	ソフト対策のための整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	岐阜県 土岐市	一般河川での水位計や監視カメラの整備・活用(多治見市・土岐市・瑞浪市・恵那市)	普通河川での危機管理型水位計の設置(土岐市)	普通河川での監視カメラの設置(土岐市)

庄内川水系流域治水プロジェクト【土岐川圏域3/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

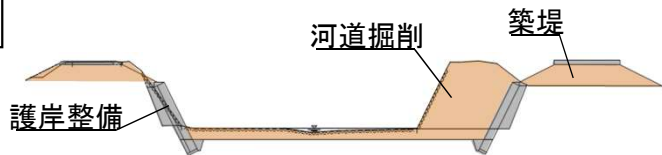
土岐川圏域

【対策事例】

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策実施例】

●堤防整備、河道掘削、橋梁改築

[堤防整備・河道掘削]



[橋梁改築]



改築予定橋梁
(瑞浪市)

●内水被害軽減対策

[雨水排水網の新設・増強]



雨水排水路(多治見市)

●土砂災害対策

[治山施設の整備]



治山堰堤(瑞浪市)

●流出抑制対策

[既設2ダムにおける
事前放流等の実施・体制構築]



神徳防災ダム(瑞浪市)

[貯留管等の整備]



雨水貯留施設(多治見市)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策実施例】

●被害軽減対策

[地下空間・地区タイムラインの
作成・周知]

地区タイムライン作成
(恵那市)



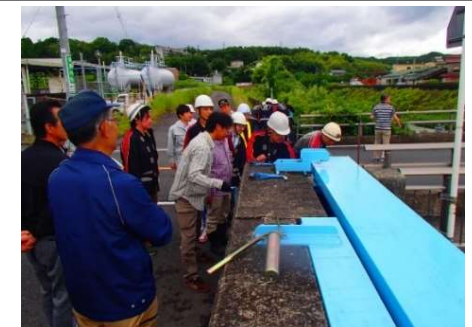
[関係機関との連携強化]



土岐川流域新五流総地域委員会
(岐阜県・多治見市・瑞浪市・土岐市・恵那市)

●住民の主体的な避難行動を促す取組み

[ハザードマップの周知および住民の
水害リスクに対する理解の促進の取組]



陸閣施設点検状況(土岐市)

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域1/4】

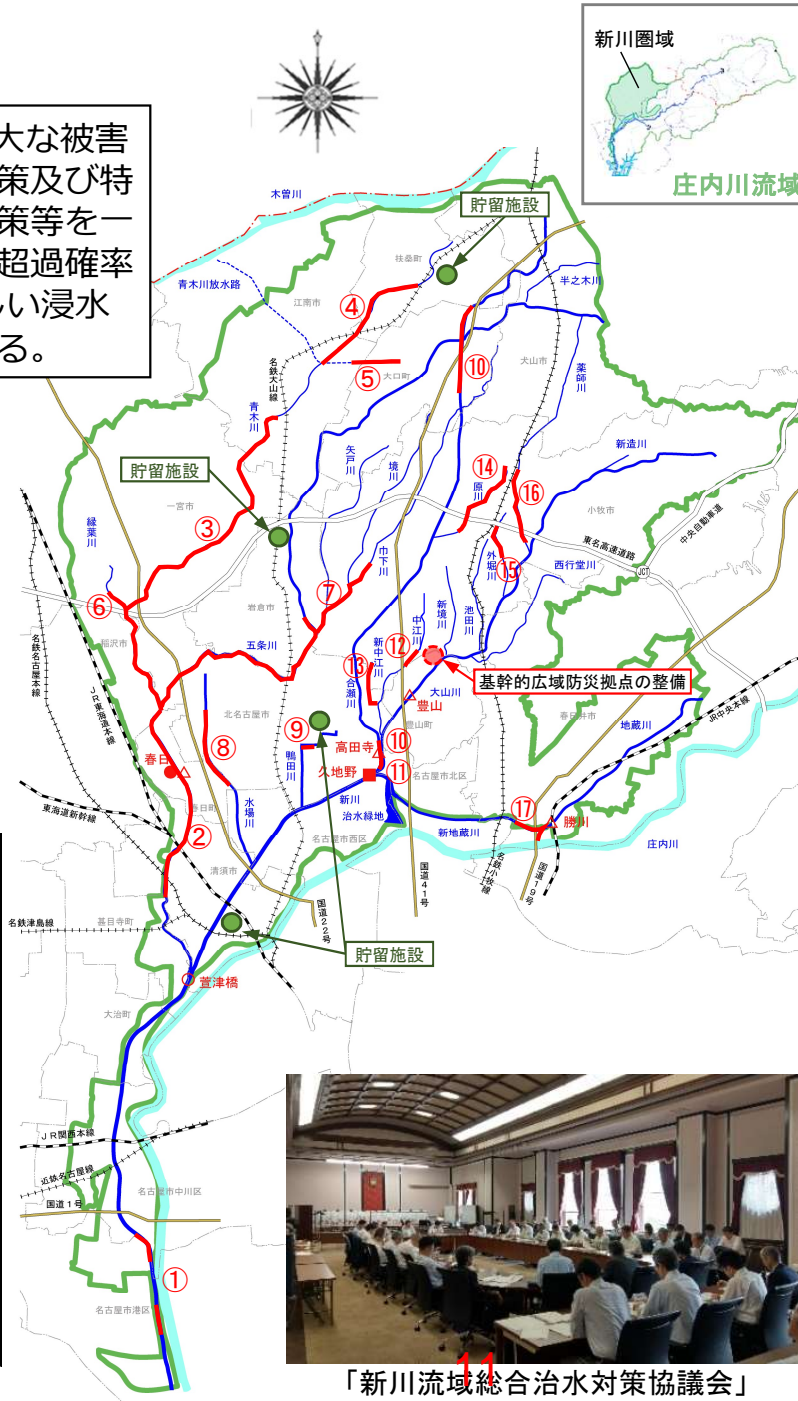
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

○平成12年9月洪水（東海豪雨）で、甚大な被害が発生した新川圏域では、総合治水対策及び特定都市河川浸水被害対策法に基づく対策等を一層推進していくことで、流域全体で年超過確率1/10の洪水が発生した場合でも、著しい浸水被害（住宅床上浸水被害）の解消を図る。



地蔵川排水機場の整備状況（愛知県）



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 等
- ・排水機場等の新設・増強・長寿命化対策
- ・流出抑制対策
(貯留管等の整備、民間開発による貯留施設設置指導、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備)
- ・土砂災害対策
(砂防施設の整備、治山施設の整備)
- ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化、効率的なポンプ運転調整ルールの検討)

● 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導)
- ・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策
(浸水防止塀設置の支援、出水期前に希望する市民への土のうの事前配布)

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・早期復旧に備えた対策（防災拠点の整備）
- ・被害軽減対策
(公園等を活用した高台の整備、広域避難計画の策定、地区タイムラインの作成・周知、要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組
(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)
- ・ソフト対策のための整備
(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)

<圏域市町>
名古屋市中区、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町



「新川流域総合治水対策協議会」

位置	河川名	主な整備内容（愛知県・圏域市町）
①	新川	堤防整備、堤防強化(耐震)、雨水ポンプ(新設・増強)
②	五条川	堤防整備、河道掘削、調節池、雨水ポンプ(増強)
③④	青木川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑤	放水路	放水路
⑥	緑葉川	堤防整備、河道掘削
⑦	巾下川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑧	水場川	堤防整備、河道掘削、調節池、排水機場(増強)
⑨	鴨田川	堤防整備、河道掘削、排水機場(増強)
⑩	合瀬川	堤防整備、河道掘削、雨水ポンプ(新設)
⑪	大山川	堤防整備、河道掘削、調節池、雨水ポンプ(増強)
⑫	中江川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑬	新中江川	堤防整備、河道掘削
⑭	原川	堤防整備、河道掘削、調節池
⑮	外堀川	堤防整備、河道掘削
⑯	薬師川	堤防整備、河道掘削
⑰	地蔵川	河道掘削、排水機場(新設)

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域1/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

【対策予定表】

対策項目	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 等	愛知県、名古屋市、一宮市、小牧市、豊山町、大治町	新川、五条川、栗師川、(準)生棚川、(準)境川、(準)千間堀川、(準)新川、(準)小針川 等	→		
			青木川放水路	→		
	排水機場等の新設・増強・長寿命化対策	愛知県、名古屋市、豊山町	地蔵川排水機場(新設)、久田良木川排水機場(増強)	→		
			水場川及び鴨田川排水機場(増強)、地蔵川第2排水機場(新設)	→		
			長寿命化対策	→		
	流出抑制対策	貯留管等の整備	愛知県、一宮市、春日井市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、扶桑町、大治町	雨水調整池 等	→	
				調節池の整備(青木川、大山川)	→	調節池の整備(五条川、巾下川 等)
		民間開発による貯留施設設置指導	江南市、清須市、北名古屋市、扶桑町、大治町	開発における雨水浸透阻害行為指導、 等	→	
		各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援	一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、清須市、北名古屋市、扶桑町、	雨水貯留施設等設置補助、浄化槽雨水貯留施設転用費補助 等	→	
		ため池等の活用	名古屋市、春日井市、小牧市	堆積土砂の浚渫の推進、ため池の機能強化 等	→	
		水田の貯留機能向上	小牧市	水田の活用による流出抑制	→	
		透水性舗装の整備	清須市、あま市	透水性舗装の実施	→	
	土砂災害対策	砂防施設の整備	愛知県	砂防関係施設の整備(倉管洞沢地区 等)	→	
		治山施設の整備	愛知県	治山ダム工の整備(犬山市、小牧市)	→	
	内水被害軽減対策	雨水排水網の新設・増強	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、小牧市、清須市、北名古屋市、豊山町	雨水排水網の整備・増強 等	→	
		ポンプ場の新設・増強・機能強化	名古屋市、一宮市、春日井市、稲沢市、岩倉市、清須市、北名古屋市、あま市、大治町	雨水排水ポンプ場の整備	→	
		効率的なポンプ運転調整ルール の検討	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、北名古屋市、清須市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町	排水調整ルールの運用	→	

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域1/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

【対策予定表】

対策項目	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中長期	
被害対象を減少させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	立地適正化計画への防災指針の位置づけ	名古屋市、春日井市、犬山市、清須市	防災指針の作成、立地適正化計画に基づく検討		
		水害リスクの低い地域への居住誘導	名古屋市	立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導		
	浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策	浸水防止塀設置の支援	扶桑町	浸水防止塀設置の支援		
		出水期前に希望する市民への土のうの事前配布	春日井市	出水期前に希望する市民への土のうの事前配布		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	早期復旧に備えた対策	防災拠点の整備	愛知県、大治町	基幹的広域防災拠点の整備(愛知県)、防災公園の整備(大治町)		
	被害軽減対策	公園等を活用した高台の整備	名古屋市	高台の整備の推進	整備の検討	
		広域避難計画の策定	清須市	広域避難の検討		
		地区タイムラインの作成・周知	岩倉市、あま市	自治体タイムラインの作成・改訂		
		要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	名古屋市、一宮市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、北名古屋市、清須市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町	避難確保計画の作成		
		ハザードマップの更新	名古屋市、春日井市、犬山市、小牧市、岩倉市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町	ハザードマップの作成、更新		
		土砂災害警戒区域等の指定・周知	愛知県	土砂災害警戒区域の指定・周知		
	住民の主体的な避難行動を促す取組	避難場所や経路等に関する情報の周知	愛知県、一宮市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、清須市、あま市、豊山町、扶桑町	防災ガイドブックの配布、防災メールの活用、避難場所や経路に関する情報の周知、土砂災害関連情報配信 等		
		分かりやすい教材等を用いた防災教育	愛知県、名古屋市、春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、清須市、あま市、豊山町、扶桑町、大治町	防災教育の推進、水防訓練の実施、地域防災リーダーの養成、雨水流出抑制の推進(市民、事業者への普及・啓発の実施) 等		
		ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	愛知県、岩倉市、清須市、あま市、大治町、	みずから守るプログラムによる手作りハザードマップの作成、マイタイムライン・マイハザードマップの作成支援 等		
ソフト対策のための整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	愛知県、春日井市、犬山市、稲沢市、大口町	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 等			

庄内川水系流域治水プロジェクト【新川圏域1/4】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

新川圏域

【対策事例】

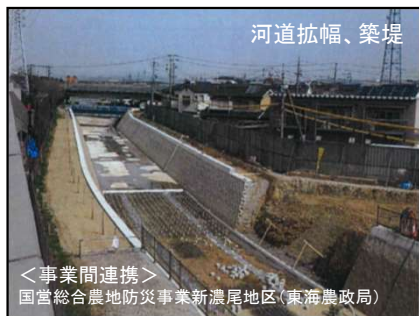
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

●堤防整備(愛知県 新川)



堤防耐震

●堤防整備(愛知県 薬師川)



河道拡幅、築堤

<事業間連携>
国営総合農地防災事業新濃尾地区(東海農政局)

●堤防整備(一宮市 (準)千間堀川)



河道拡幅・河道掘削

●土砂災害対策 (治山施設の整備<愛知県>)



治山ダム工

●流出抑制対策 (貯留管等の整備<愛知県>)



青木川第4調節池

●流出抑制対策 (貯留管等の整備<大口町>)



雨水貯留施設

【被害対象を減少させるための対策】

- 浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策
(浸水防止塀設置の支援<扶桑町>)



浸水防止塀

浸水防止塀設置費補助金制度のご案内

【対象】
・新築・増築・改築工事を行う際に、浸水防止塀を設置する場合は、設置費の一部を補助金として補助します。
・補助金の申請は、国土交通省の「浸水防止塀」の設置申請書に添付して、所管官庁に提出します。

【対象とならないもの】
・既存の塀の改修工事
・塀の設置が、河川敷や河川敷外縁部以外に設置される場合
・洪水浸水想定区域外に設置される場合
・国土交通省の定める規格に適合しない塀を設置する場合
・国土交通省の定める規格に適合しない塀を設置する場合

【申請】
・国土交通省の定める申請書に添付した資料を所管官庁に提出し、審査を受ける。
・申請書に添付した資料が不十分であると認められた場合は、申請書の提出を中止し、必要な資料を提出し、再度申請を行う。

国土交通省 国土政策局 国土政策課 国土政策課長 担当

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 早期復旧に備えた対策
(防災拠点の整備<愛知県>)



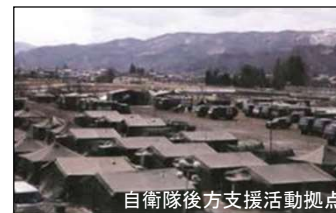
支援物資保管・作業ヤード



緊急消防援助隊ベースキャンプ



災害医療支援(SCU)



自衛隊後方支援活動拠点



小牧市
防災拠点
予定地
県営名古屋空港
豊山町

大山川調節池の整備

- 住民の主体的な避難行動を促す取組
(避難場所や経路等に関する情報の周知)



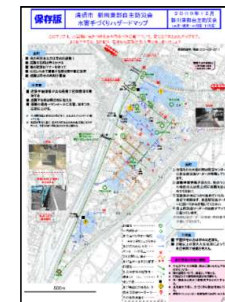
洪水避難ビル誘導標識(江南市)

(分かりやすい教材等を用いた防災教育)



水防訓練(岩倉市)

(ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)



みずから守るプログラムによる
手作りハザードマップ(清須市)

庄内川水系流域治水プロジェクト【庄内川上流圏域1/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

庄内川上流圏域



八田川の整備状況（愛知県）

● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等
- ・流出抑制対策
(貯留管等の整備、各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援、ため池等の活用、水田の貯留機能向上、透水性舗装の整備)
- ・土砂災害対策
(砂防施設の整備、治山施設の整備)
- ・内水被害軽減対策
(雨水排水網の新設・増強、ポンプ場の新設・増強・機能強化)

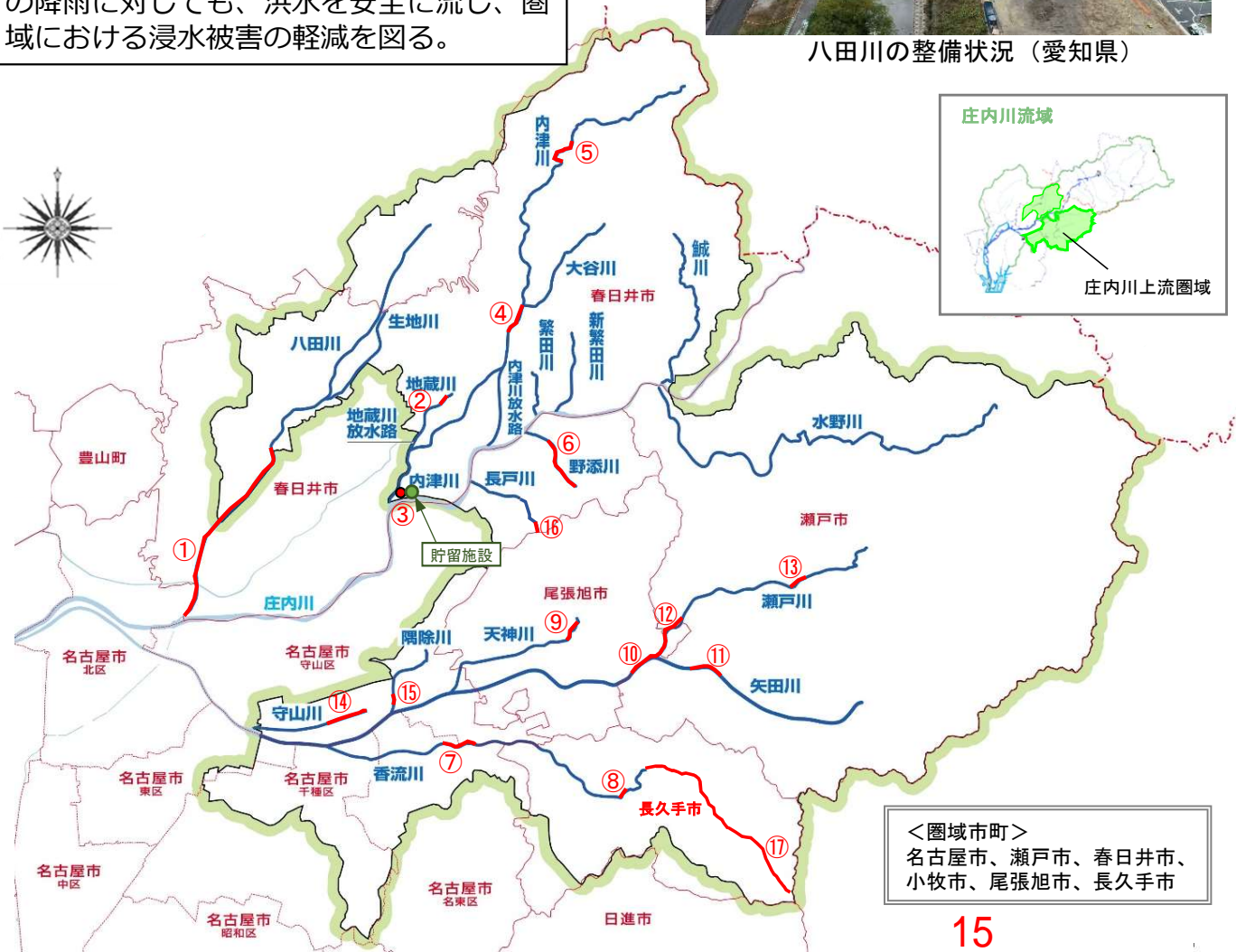
● 被害対象を減少させるための対策

- ・頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
(立地適正化計画への防災指針の位置づけ、水害リスクの低い地域への居住誘導)
- ・浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策
(出水期前に希望する市民への土のうの事前配布)

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・被害軽減対策
(要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保、ハザードマップの更新、土砂災害警戒区域等の指定・周知)
- ・住民の主体的な避難行動を促す取組
(避難場所や経路等に関する情報の周知、分かりやすい教材等を用いた防災教育、ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組)
- ・ソフト対策のための整備
(危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設)

○ 平成12年9月洪水（東海豪雨）および平成23年9月洪水（15号台風）で、大きな被害が発生した庄内川上流圏域に位置する河川では、平成25年10月に策定した「河川整備計画」に基づき、年超過確率1/30～1/5の降雨に対しても、洪水を安全に流し、圏域における浸水被害の軽減を図る。



<圏域市町>
名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市

位置	河川名	主な整備内容（愛知県・圏域市町）
①	八田川	堤防・護岸整備、河道掘削、雨水ポンプ（増強）
②	地蔵川	函渠改築
③	内津川	雨水ポンプ（新設）
④⑤	内津川	護岸整備、河道掘削
⑥	野添川	堤防・護岸整備
⑦⑧	香流川	護岸整備、河道掘削
⑨	天神川	護岸整備、河道掘削
⑩	矢田川	護岸整備、河道掘削
⑪	矢田川	堤防整備、河道掘削
⑫⑬	瀬戸川	護岸整備、河道掘削
⑭	守山川	調節池
⑮	隅除川	調節池
⑯	(準)長戸川	堤防・護岸整備
⑰	(普)香流川	維持浚渫

庄内川水系流域治水プロジェクト【庄内川上流圏域2/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

庄内川上流圏域

【対策予定表】

対策項目	対策メニュー	実施主体	短期	中期	中長期			
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備、河道掘削、橋梁改築 等	愛知県、名古屋市、瀬戸市、長久手市	八田川、野添川、(備)長戸川 等					
	流出抑制対策	貯留管等の整備	名古屋市、春日井市、小牧市、尾張旭市	雨水調整池 等				
		各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援	春日井市、小牧市	雨水貯留施設等設置補助、浄化槽雨水貯留施設転用費補助 等				
		ため池等の活用	名古屋市、瀬戸市、春日井市、尾張旭市	堆積土砂の浚渫の促進、ため池の機能強化 等				
		水田の貯留機能向上	小牧市、尾張旭市	水田の活用による流出抑制				
		透水性舗装の整備	尾張旭市	透水性舗装の実施				
		土砂災害対策	砂防施設の整備	愛知県	砂防関係施設の整備(水野川12支川) 等			
	治山施設の整備		愛知県	治山ダム工の整備(春日井市、瀬戸市)				
	内水被害軽減対策	雨水排水網の新設・増強	名古屋市、春日井市、尾張旭市	雨水排水網の新設・増強				
		ポンプ場の新設・増強・機能強化	名古屋市、春日井市	雨水排水ポンプ場の整備				
		効率的なポンプ運転調整ルールの検討	名古屋市	より効率的・効率的なポンプ運転調整ルールの検討				
	被害対象を減少させるための対策	頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	立地適正化計画への防災指針の位置づけ	名古屋市、春日井市、尾張旭市	防災指針の作成、立地適正化計画に基づく検討			
			水害リスクの低い地域への居住誘導	名古屋市、瀬戸市	立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導			
		浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策	出水期前に希望する市民への土のうの事前配布	春日井市、尾張旭市	出水期前に希望する市民への土のうの事前配布			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策	公園等を活用した高台の整備	名古屋市	整備の検討				
		要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市	避難確保計画の作成				
		ハザードマップの更新	名古屋市、瀬戸市、春日井市、小牧市、尾張旭市、長久手市	ハザードマップの作成、更新				
		土砂災害警戒区域等の指定・周知	愛知県	土砂災害警戒区域の指定・周知				
	住民の主体的な避難行動を促す取組	避難場所や経路等に関する情報の周知	愛知県、小牧市	防災ガイドブックの配布、避難場所や経路に関する情報の周知、土砂災害関連情報配信 等				
		分かりやすい教材等を用いた防災教育	愛知県、名古屋市、春日井市、小牧市	防災教育の推進、水防訓練の実施、雨水流出抑制の推進(市民、事業者への普及・啓発の実施) 等				
		ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組	愛知県	みずから守るプログラムによる手作りハザードマップの作成、マイハザードマップの作成支援 等				
ソフト対策のための整備	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設	愛知県、春日井市、長久手市	危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 等					

庄内川水系流域治水プロジェクト【庄内川上流圏域3/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

庄内川上流圏域【対策事例】

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

●堤防整備(愛知県 八田川)



●河道掘削(瀬戸市 (普)本地川)

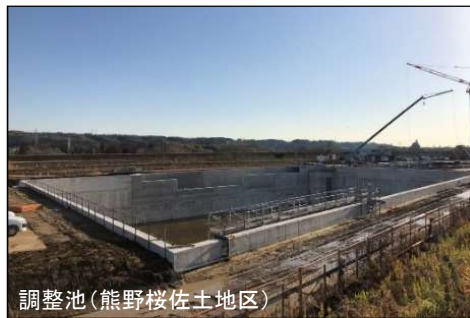


●堤防整備(名古屋市 野添川)



●流出抑制対策

(貯留管等の整備<春日井市>)



●土砂災害対策

(砂防施設の整備<愛知県>)



●土砂災害対策

(治山施設の整備<愛知県>)



【被害対象を減少させるための対策】

- 浸水ハザードエリアにおける各家庭への浸水防止対策
(出水期前に希望する市民への土のうの事前配布<春日井市>)



春日井市
kasugai City

市から土のうを配布します

市から土のうを配布します
入居予定の戸数などに応じて、事前に希望する世帯に土のうを配布します。お住みの地域に
お住まいの世帯に配布します。配布日はこちら



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 住民の主体的な避難行動を促す取組

(分かりやすい教材等を用いた防災教育)



(分かりやすい教材等を用いた防災教育)



(避難場所や経路等に関する情報の周知)



- ソフト対策のための整備

(危機管理型水位計
・監視カメラの設置・増設)

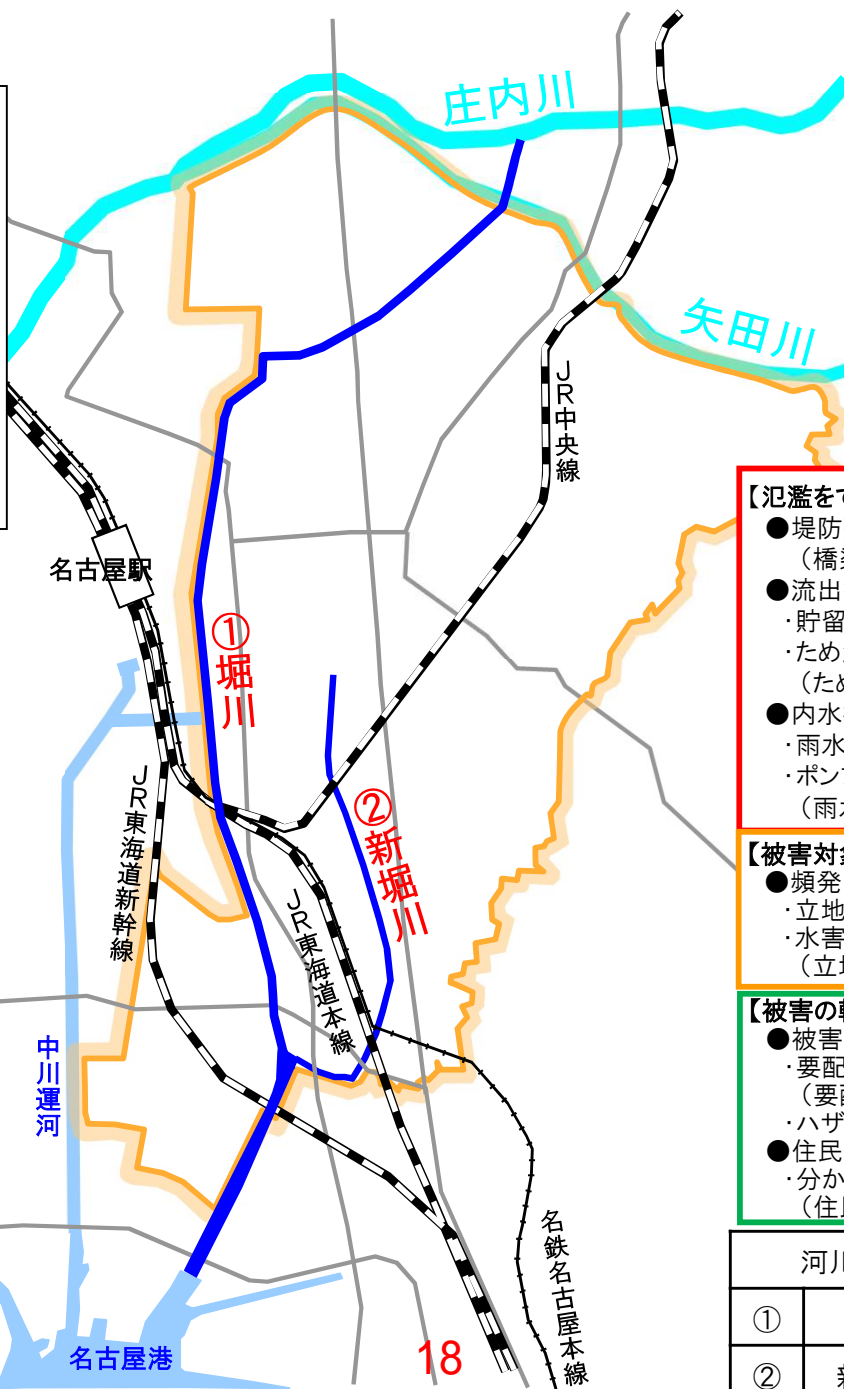


庄内川水系流域治水プロジェクト【堀川圏域1/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

堀川圏域

- 治水対策は、下水道整備と整合を図りながら、概ね10年に1回程度発生することが予想される降雨(24時間雨量205mm、1時間雨量63mm)による洪水を安全に流下させることを目標とする。
- 目標とする治水安全度を超える規模の洪水に対しては、雨量や河川水位などの防災情報を地域住民や関係機関に提供し、水防活動を支援する。さらに、災害時のみならず平常時から浸水実績図をはじめとする情報提供、水防体制の強化及び関係機関や地域住民との連携に努め、想定される被害の軽減を図る。



- 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】**
- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削)
 - 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備(調節池)
 - ・ため池等の活用(河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等) (ため池の機能強化(耐震化))
 - 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水ポンプの増強・機能強化(耐震化、耐水化))

- 【被害対象を減少させるための対策】**
- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け(防災指針の作成)
 - ・水害リスクの低い地域への居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導)

- 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】**
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進)
 - ・ハザードマップの更新
 - 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進))

河川名	整備内容	
① 堀川	堤防(護岸)整備、河床掘削、雨水ポンプの増強	
② 新堀川	調節池、雨水ポンプの増強	12

庄内川水系流域治水プロジェクト【堀川圏域2/3】

～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

堀川圏域

対策メニュー		短期	中期	中長期
橋梁改築、堤防(護岸)整備、河道整備		堀川		
流出抑制対策	貯留管等の整備		新堀川(調節池)	
	ため池等の活用	河川・ため池・調整池の堆積土砂の浚渫等		
		ため池の機能強化(耐震化)		
内水被害軽減対策	雨水排水網の新設・増強	雨水排水網の新設・増強		
	ポンプ場の新設・増強・機能強化	雨水ポンプの増強		
		雨水ポンプの機能強化(耐震化・耐水化)		
頻発化・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組	立地適正化計画への防災指針の位置付け	防災指針の作成		
	水害リスクの低い地域への居住誘導	立地適正化計画に基づく居住誘導		
被害軽減対策	公園等を活用した高台の整備	整備の検討		
	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進		
	ハザードマップの更新	情報の収集・検討等 名古屋市ハザードマップ完成		
住民の主体的な避難行動を促す取組	分かりやすい教材等を用いた防災教育 住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)			

庄内川水系流域治水プロジェクト【堀川圏域3/3】

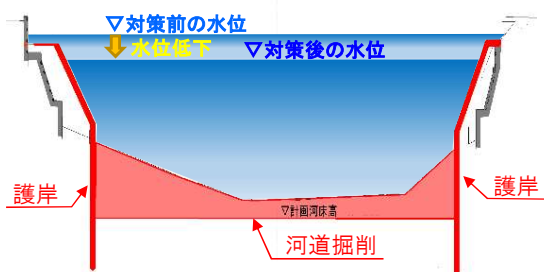
～東西を繋ぎ、日本経済を支える名古屋都市圏を水害から守る流域治水対策～

堀川圏域

【対策事例】

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 橋梁改築、堤防(護岸)整備、河床掘削



● 内水被害軽減対策

- ・ 雨水ポンプ場の増強・機能強化



- ・ 雨水排水網の新設・増強



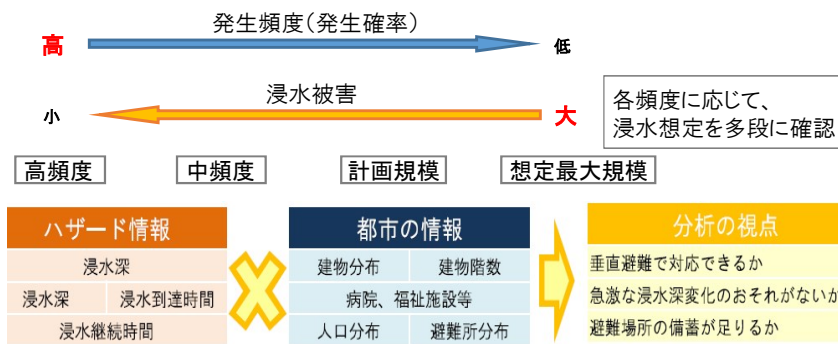
- ・ ため池等の活用

河川・ため池・調節池の
堆積土砂の浚渫等



【被害対象を減少させるための対策】

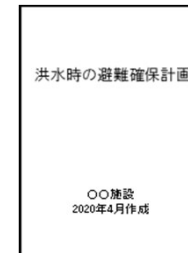
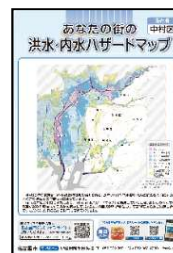
- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・ 立地適正化計画への防災指針の位置づけ (防災指針の作成)
 - ・ 水害リスクの低い地域への居住誘導 (立地適正化計画に基づく居住誘導)



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

● 被害軽減対策

- ・ ハザードマップの更新
- ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設における避難確保計画の取組の促進)
- ・ 分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民への普及啓発 (雨水流出抑制の推進))



庄内川水系流域治水プロジェクト (各構成員版)

多治見市・・・P3	江南市・・・P12	豊山町・・・P21
瑞浪市・・・P4	小牧市・・・P13	大口町・・・P22
恵那市・・・P5	稲沢市・・・P14	扶桑町・・・P23
土岐市・・・P6	尾張旭市・・・P15	大治町・・・P24
名古屋市・・・P7	岩倉市・・・P16	蟹江町・・・P25
一宮市・・・P8	清須市・・・P17	東海農政局・・・P26
瀬戸市・・・P9	北名古屋市・・・P18	中部森林管理局・・・P27
春日井市・・・P10	あま市・・・P19	多治見砂防 国道事務所・・・P28
犬山市・・・P11	長久手市・・・P20	

目標

オール多治見による雨水流出抑制と市民の防災意識向上を实践、中流域の役割として下流に位置する市町への流出負担軽減

- 2011年台風15号豪雨被害を受け、平成24年に「多治見市平和町、池田町、前畑町、田代町等雨水排水対策協議会」を設置し、71事業を実施。対象区域の床上浸水が概ね解消。
【事業期間】2011年から2018年(8年間) 【総事業費】74.9億円(うち 国費:40.2億円)
- さらなる浸水対策推進のため、市内全域を対象にした、国・県・市等関係者による多治見市浸水対策協議会を平成31年に設置。今後は、流域治水対策とともに事業を実施予定。



庄内川流域図



対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・河道掘削
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備(雨水貯留施設の新設(駅南再開発)、貯留施設機能の維持・回復(調整池堆積土砂の浚渫))
 - ・民間開発による貯留施設設置指導(開発行為に対する流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援(雨水貯留施設設置補助金交付)
 - ・ため池等の活用(ため池等農業施設の活用、既設貯留施設(ため池等)の事前放流)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設、増強(雨水排水網の新設、増強)

【被害対象を減少させるための対策】

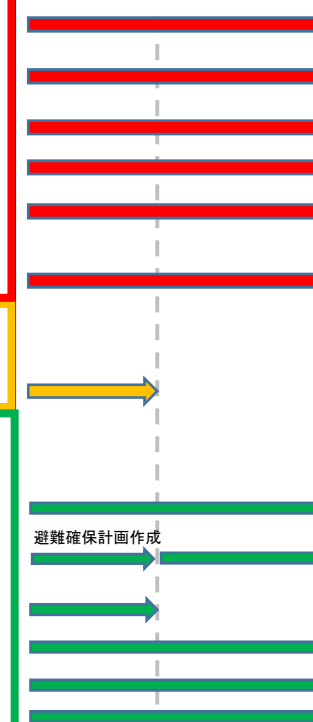
- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間、地区タイムラインの作成、周知(タイムラインの作成、周知(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援))
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・関係機関との連携強化(多治見市浸水対策協議会)
 - ・ハザードマップの更新(ハザードマップの作成、活用)
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育(防災教育の実施)
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組(水防訓練の実施)

H23洪水時の様子

短期 中・長期



※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

目標

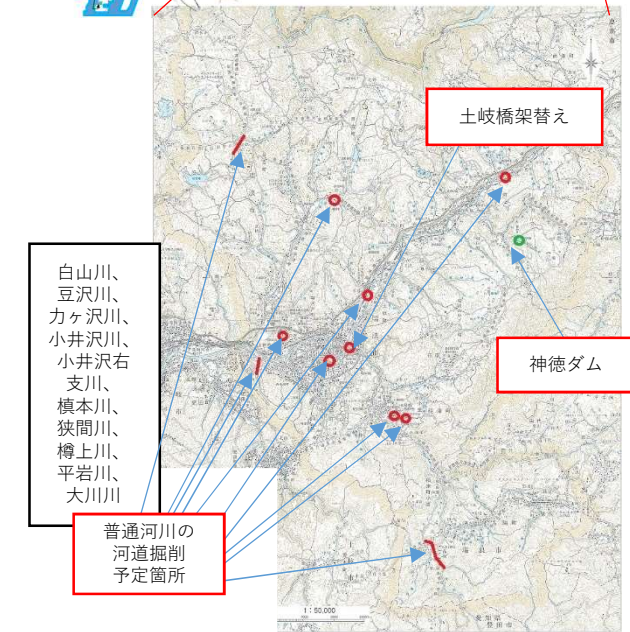
瑞浪市は、上流域に位置する自治体として、豊かな水辺環境の維持に努めるとともに、中・下流域への流出負担軽減を推進し、市民の防災意識の向上を図る



一級河川での河川橋梁改築

普通河川の河道掘削の実施

ため池等の活用



対策メニュー

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

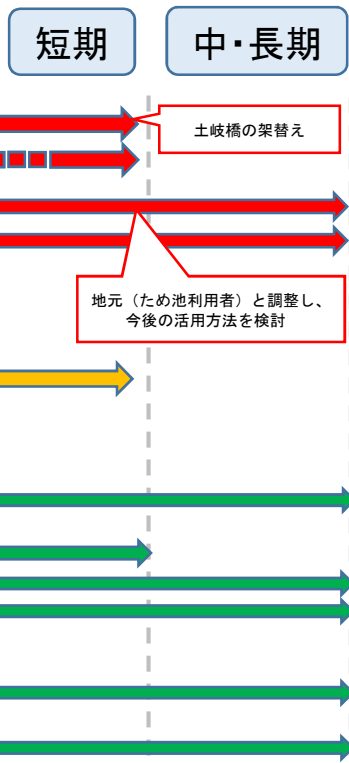
- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
 - ・一級河川での河川橋梁改築
 - ・普通河川の河道掘削及び浸水対策の実施
- 流出抑制対策
 - ・既設ダム2ダムにおける事前放流等の実施・体制構築
 - ・民間開発による貯留施設設置指導（開発行為に対する流出抑制指導（貯留・浸水施設））

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画へ防災指針の位置付け）

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

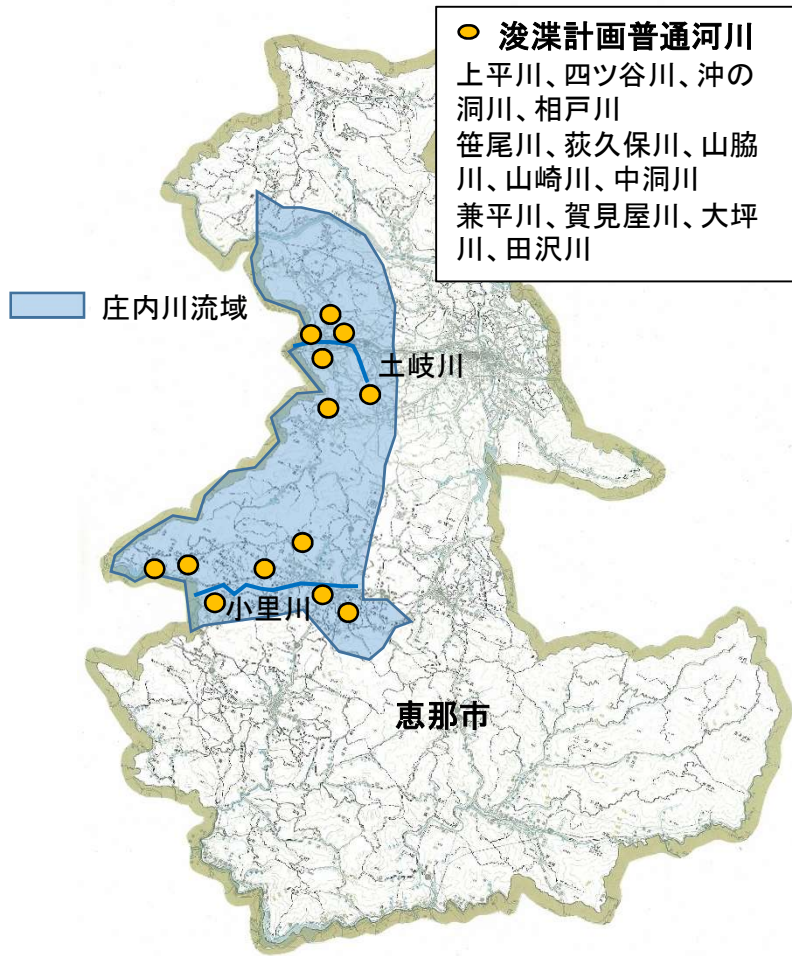
- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知（自治体タイムラインの周知）
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画の策定の推進）
 - ・関係機関との連携強化（土岐川流域新五流総地域委員会）
 - ・ハザードマップの更新（ハザードマップの更新・活用）
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）
 - ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（マイタイムライン作成の促進）



※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

庄内川流域の源流部に位置する恵那市

“水源地の森林を守り、育て豊かな水を下流域へ” を目標に森林保全事業を実施



- 浚渫計画普通河川
上平川、四ツ谷川、沖の洞川、相戸川
笹尾川、荻久保川、山脇川、山崎川、中洞川
兼平川、賀見屋川、大坪川、田沢川

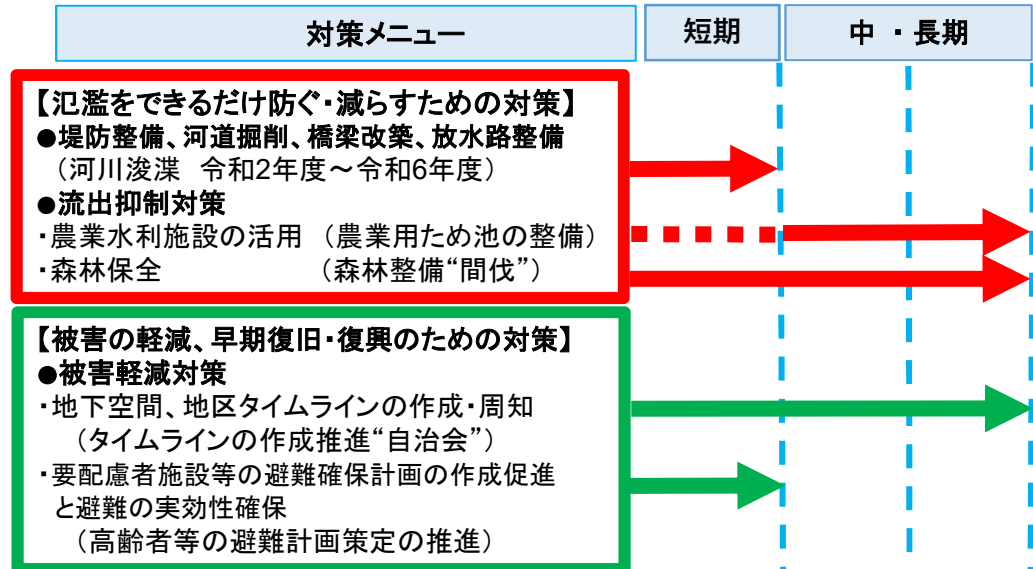
森林整備面積(ha)

令和2年度	3.50ha
令和元年度	10.38ha
平成30年度	21.55ha

(森林環境保全直接支援事業、環境保全林整備事業)

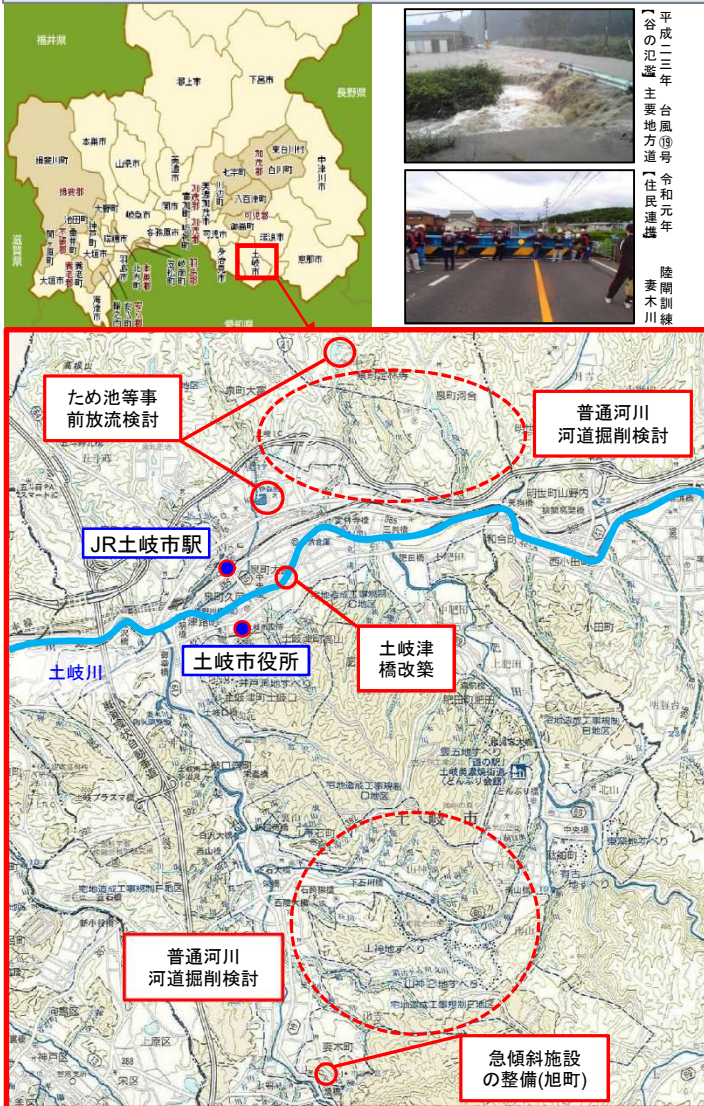


森林整備状況



※短期目標は5年程度、中・長期目標は10年～20年程度を想定

土岐市では、【上流域の自治体として雨水流出抑制に努め、市民の防災意識向上を目指す】
森林保全やため池貯留等による雨水流出抑制、災害図上訓練や小学生を対象とした防災教育による
防災意識の向上に努める。



平成二十三年 台風(9号)令和元年
谷の氾濫 主要地方道(住民連係) 陸奥訓練
妻木川

対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (普通河川での河道掘削(維持管理計画等の検討)) (橋梁の架替(土岐津橋改築)) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導(貯留・浸水施設)) ・ため池等の活用 (既設貯留施設(ため池等)の事前放流) ・森林保全 (間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化) ●土砂災害対策 <ul style="list-style-type: none"> ・砂防施設の整備 (急傾斜施設の整備(妻木旭町で実施中)) 	<p>※短期目標は5年程度、中・長期 目標は10~20年程度を想定</p>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムライン作成・周知(随時見直し)) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・関係機関との連携 (関係機関との連携(土岐川流域新五流総地域委員会)) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育)) ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (ハザードマップの作成・活用(災害図上訓練の実施)、住民連携による 施設維持(点検および操作訓練)) ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (普通河川に於ける危機管理型水位計及び監視カメラの設置) 		<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>

新しい時代にふさわしい豊かな未来を創る！世界に冠たる「NAGOYA」へ向けて、あらゆる関係者により、**広範囲に存在する災害リスクに対応し、名古屋大都市圏の中核都市として、全国の都市部の先駆けとなるような流域治水を展開**

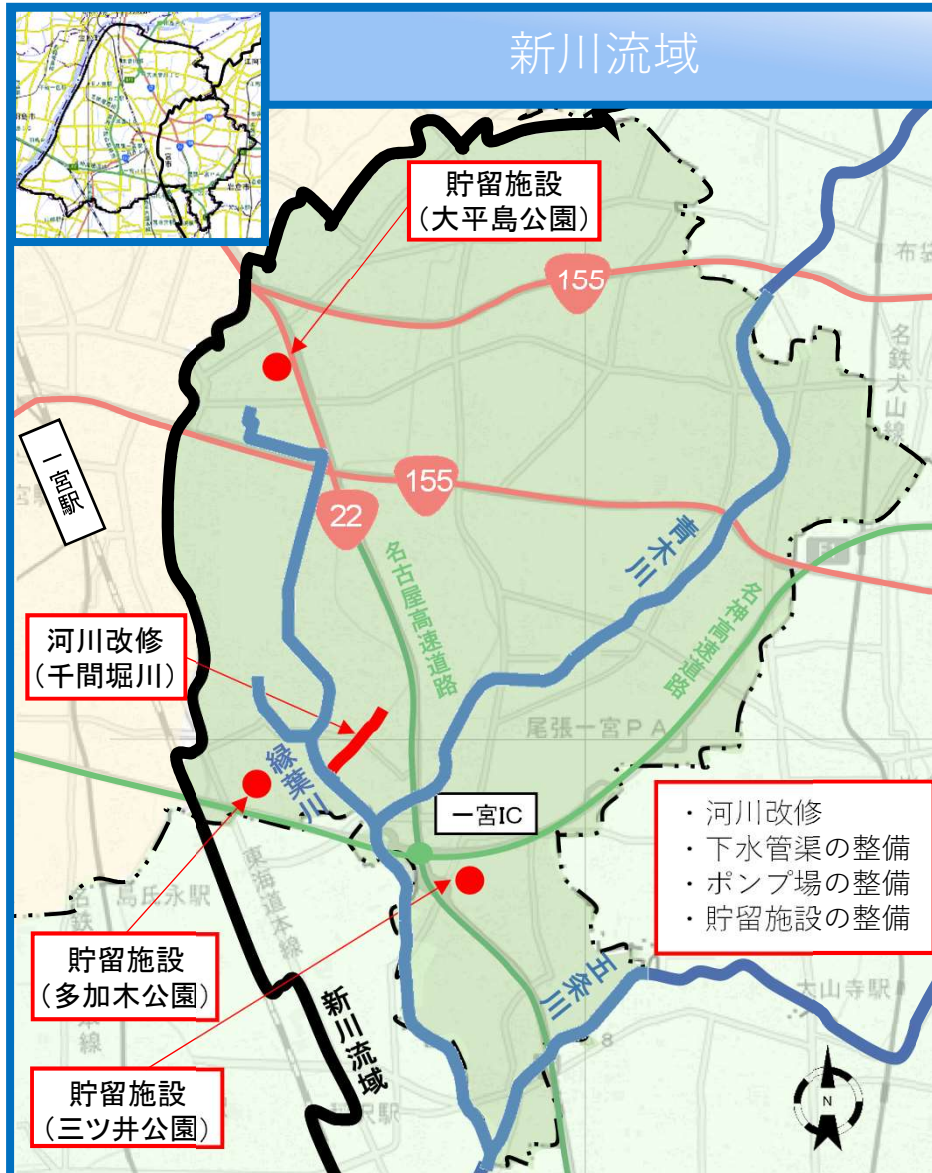


対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備（橋梁改築、堤防（護岸）整備、河床掘削） ●排水機場の新設・増強・長寿命化（排水機場の増強） ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備（調整池、調節池） ・ため池等の活用（河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等）（ため池の機能強化（施設改良、耐震化）） ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプの新設・増強・機能強化（耐震化、耐水化）） ・効率的なポンプ運転調整ルールの検討 		
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の作成） ・水害リスクの低い地域への居住誘導（立地適正化計画に基づく居住誘導） 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・公園等を活用した高台の整備 ・広域避難計画の策定（想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難計画の策定） ・地下空間、地区タイムラインの作成・周知（地下空間タイムラインの活用） ・水位周知下水道の指定・運用 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（要配慮者利用施設等における避難確保計画の取組の促進） ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育（住民への普及・啓発（雨水流出抑制の推進）） 		

※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

目標

みんなで取り組む流域治水
～浸水被害ゼロの新たなまちづくり～



H12東海豪雨時の浸水状況

対策メニュー

短期

中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (河川改修(千間堀川等))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (浸水対策施設設置補助)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強 (下水管渠の整備)
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (防災ハンドブック改訂) (防災メール)

避難確保計画
の作成

“住みたいまち 誇れるまち 新しいせと” 水災害リスクを低減するまちづくり



一級河川 水野川 (平成23年9月 台風15号)

対策メニュー

短期 中・長期

【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施)
- 流出抑制対策
 - ・ため池等の活用
(ため池の活用を実施)

対象河川は検討中

【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
- ・水害リスクの低い地域への居住誘導
(水害リスクの低い地域への移住誘導を検討)

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(作成した計画に基づく避難訓練の実施促進)
 - ・ハザードマップの更新
(現行のハザードマップの背景地図を更新)

避難確保計画作成(令和3年度)

令和3年度予定

一級河川以外の市管理河川で、河床掘削や河道内の樹木伐採等の実施(検討中)

ため池の活用 移住誘導の検討 避難訓練の促進 ハザードマップの更新

瀬戸市全域図



★安全安心で快適な住環境が整ったライフタウン! -これからも住みつづけたいまちへ向けて、国・県、そして市民とともに進める庄内川・八田川・地蔵川・内津川流域全体の治水対策-



【犬山市の流域治水対策】

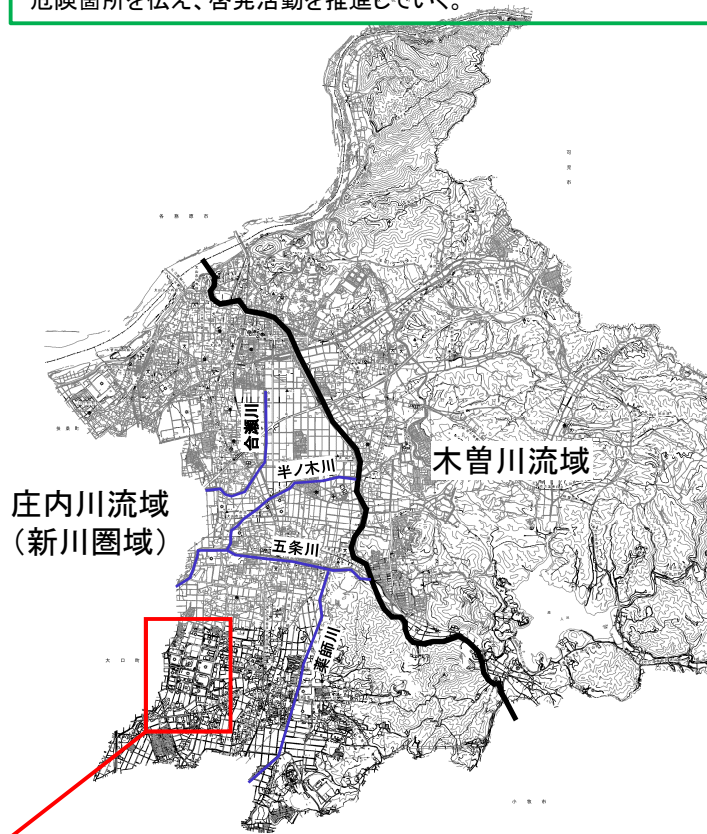


○犬山市では、上流域の役割として下流に位置する市町村への流出負担軽減及び市民の防災意識向上の実施をめざす。
○具体の施策としては、内水被害軽減対策として雨水排水網の増強や、ハザードマップ作成等により住民の防災意識向上を実施していく。

◎市民を対象にハザードマップを活用した防災講話を実施。避難行動の重要性や危険箇所を伝え、啓発活動を推進していく。



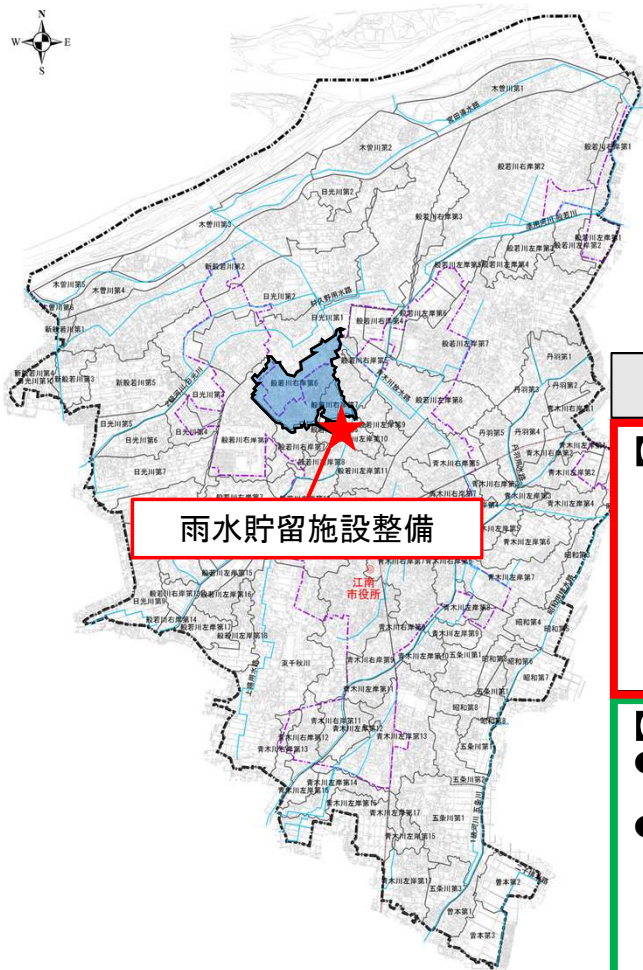
平成25年9月の豪雨時の状況



◎近年の豪雨により浸水被害が発生している地区を優先し、排水網の新設・増強を行うとともに、放流河川への負荷を軽減させるための調整池を整備する。

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置費の補助） ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強 	→	→
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（立地適正化計画に基づく検討） 	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（高齢者等の避難確保計画策定の推進） ・ハザードマップの更新（ハザードマップを作成し、住民の防災意識向上に向けた取組を実施） ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育（住民の防災意識向上のための取組） ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラの設置・増設） 	R2年度 避難確保計画作成済み →	→

○江南市では、浸水被害のないまちづくりを推進し、【地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市】をめざす。
○具体の施策としては、雨水貯留施設整備や避難情報周知等の流域治水対策を実施していく。



H29五条川越水時の様子



R1降雨時の様子

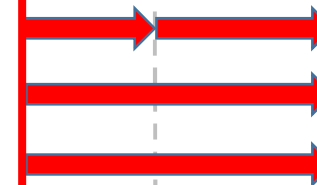
対策メニュー

短期

中・長期

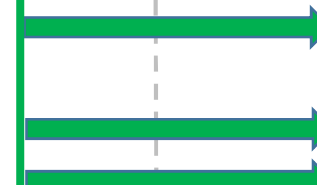
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(雨水貯留施設や雨水管線の整備)
 - ・民間開発による貯留施設設置指導
(江南市雨水流出抑制基準に基づく流出抑制指導)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留浸透施設設置費補助に対する助成)



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者利用施設等の避難確保計画の作成推進と避難の実効性確保
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
 - ・分かりやすい教材を用いた防災教育
(住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等))



・いつ起きるか分からない大雨による**浸水被害を最小限に抑制**し、市民の貴重な生命と財産を守る。
 ・市民自らが災害に備えるとともに、**地域住民がお互いに顔の見える関係を構築**することで、災害発生時に**地域が一体となって被害を最小限に抑えられる**まちを目指す。



準用河川整備



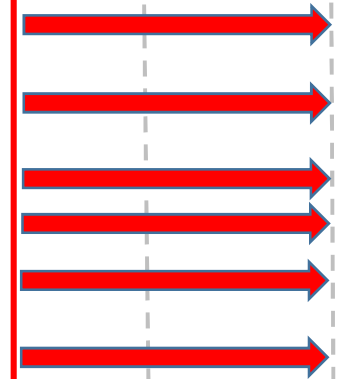
※短期目標は5年程度、中・長期目標は10～20年程度を想定

対策メニュー

短期 中・長期

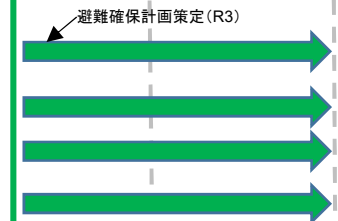
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備
(準用河川整備(新川・小針川))
- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(公園等の活用を含む雨水貯留施設整備((仮称)第3老人福祉センター・井領公園・本田会館北公園))
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(雨水貯留施設等設置補助金)
 - ・ため池等の活用
(ため池の機能強化)
 - ・水田の貯留機能向上
(水田利用による雨水流出抑制対策)
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強
(大山川排水区・薬師川排水区・下小針雨水幹線)



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

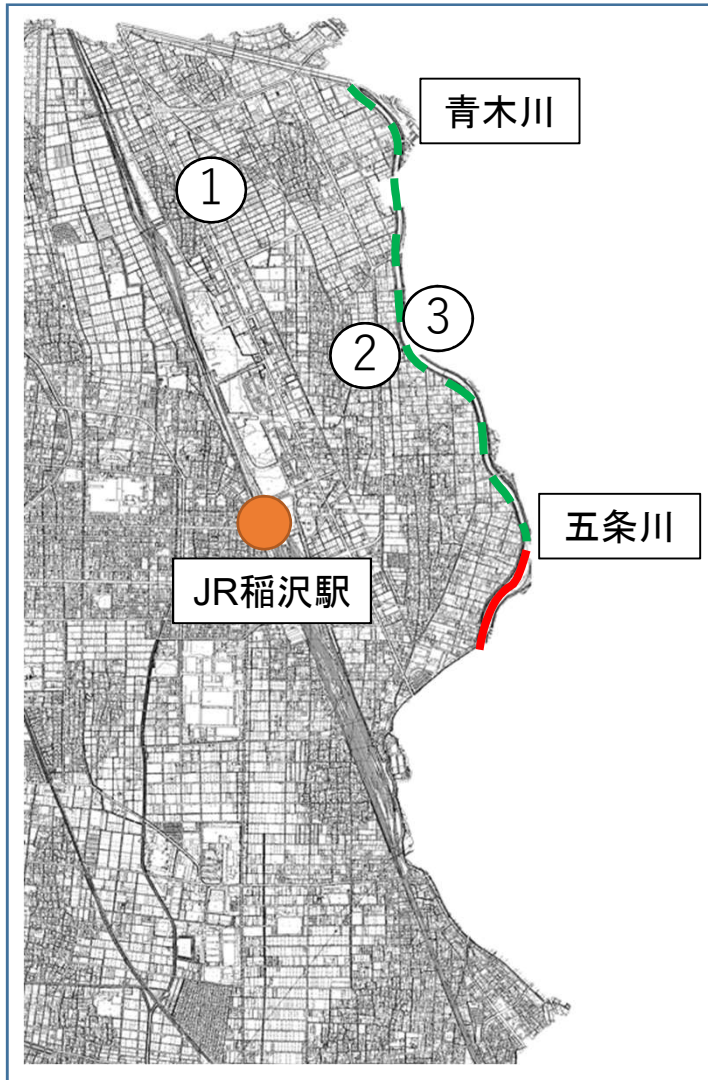
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画策定の作成促進と避難の実効性確保
(高齢者等の避難確保計画の策定の推進)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・避難場所や経路等に関する情報の周知
(小牧市防災ガイドブック配布、HP掲載)
 - ・分かりやすい教材等を用いた防災教育
(学校区単位の防災訓練、講師による防災講演会)



【稲沢市の流域治水対策】



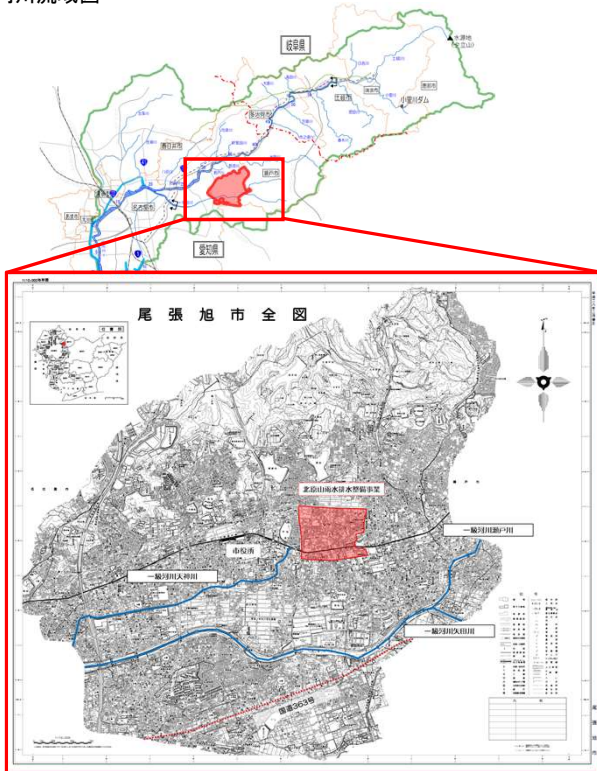
- 安全・安心で、健康に暮らせるまち「INAZAWA」をめざす。
- 雨水貯留施設の整備、被害の軽減対策を実施していく。



対策メニュー	短期	中期	長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●流出抑制対策 ・貯留管等の整備 (調整池の整備) 図内① (流域貯留) 図内②	→		→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (避難確保計画の早期作成を要請中) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (ハザードマップ更新(令和2年度)に伴う防災マップの配布 (令和3年度)) ●ソフト対策のための整備 ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設 (監視カメラの増設) 図内③	→		→
	→		→
	→		

○「すくすくのびのび尾張旭市」自然に恵まれたまちだからこそ、雨に強いまちづくり
 ○排水施設の整備・維持管理を行い、大雨による浸水被害を最小限に抑制する

庄内川流域図



平常時



増水時 (R2.7.18 30mm/h)

一級河川天神川 【写真】天神川1号橋より下流側を撮影

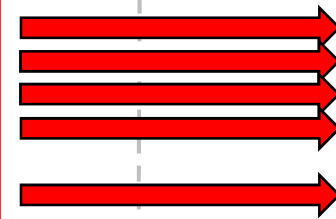
対策メニュー

短期

中・長期

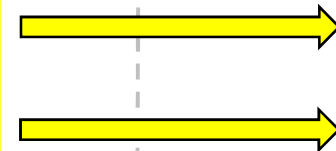
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備（貯留施設の整備・保全）
 - ・ため池等の活用（ため池の活用による流出抑制）
 - ・水田の貯留機能向上（水田の活用による流出抑制）
 - ・透水性舗装の整備
- 内水被害軽減対策
 - ・雨水排水網の新設・増強（排水施設の整備・維持管理）



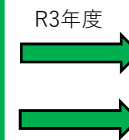
【被害対象を減少させるための対策】

- 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組
 - ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針の検討・作成）
- 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策
 - ・出水期前に希望する市民への土のうの事前配布



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

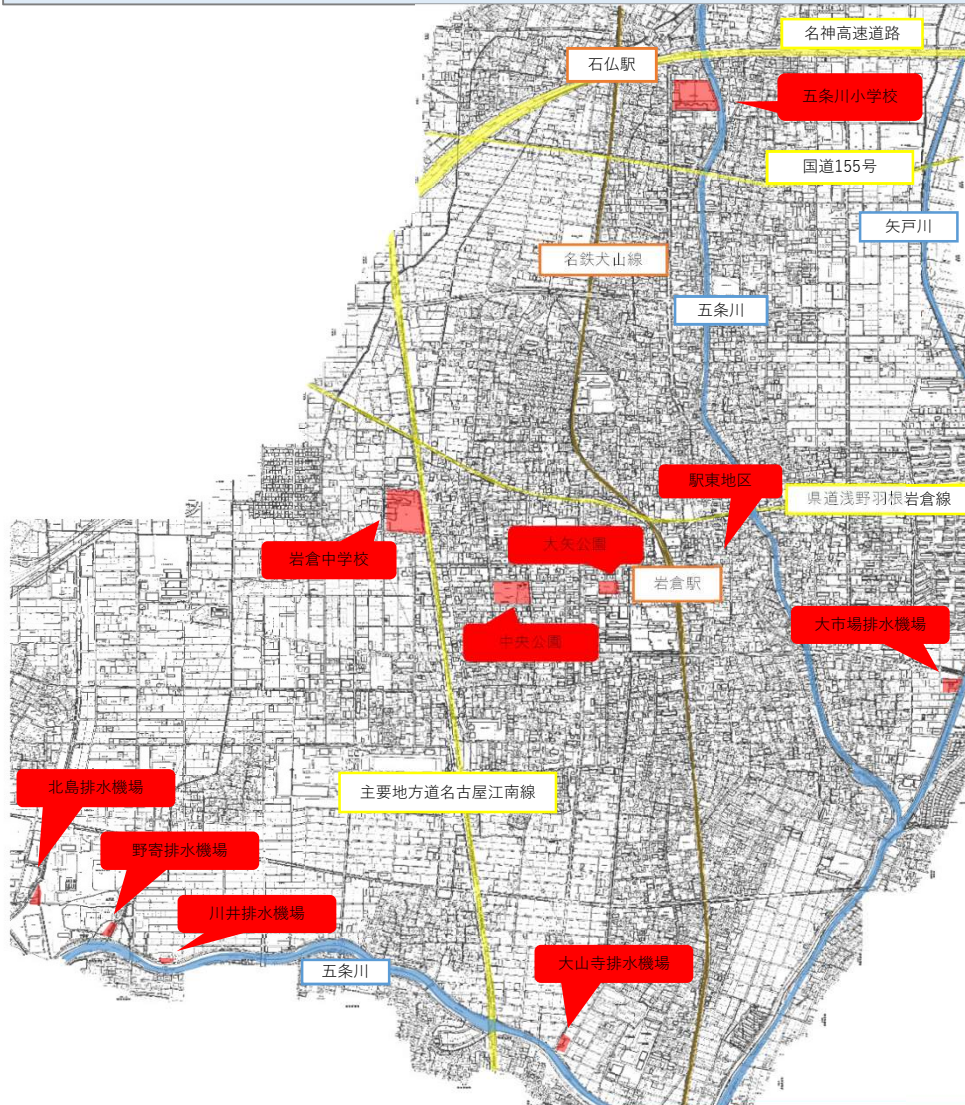
- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップの更新



R3年度



- 「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち」治水対策にも取り組み「やっぱり岩倉がい〜わ」といわれる市を目指す
- 公共施設(公園、学校等)に雨水調整池を整備、排水機場の更新、避難計画策定などの対策を行う



五条川小学校の雨水調整池の様子



大市場排水機場更新イメージ図



※短期は5年程度、中・長期は10~20年以上を想定

対策メニュー	短期	中・長期
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内水被害軽減策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (大市場・大山寺・北島・野寄・川井の5排水機場の更新) (ポンプ排水能力の増強) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (五条川小学校・岩倉中学校・中央公園・大矢公園・駅東地区に雨水調整池を整備) 	<p>実施中(2回のおり)</p>	
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの改訂) ・要配慮者施設等の避難確保企画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画策定の推進) ・ハザードマップの更新 (ハザードマップ更新) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (避難場所・経路の情報推進) ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (防災教育の推進) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムライン策定の推進) 		

【清須市の流域治水対策】



★水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市を目指し、市民と行政が一体となって災害への備えを充実させ、**安全で安心に暮らせるまちをつくる**



対策メニュー		短期	中長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備（雨水調整池の整備） ・民間開発による貯留施設設置指導（開発における雨水貯留浸透施設の設置指導） ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援（雨水貯留浸透施設設置補助金、浄化槽雨水貯留施設転用補助金） ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・雨水排水網の新設・増強（雨水幹線の整備） ・ポンプ場の新設・増強・機能強化（雨水ポンプ場の整備） 			
【被害対象を減少させるための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・立地適正化計画への防災指針の位置付け（防災指針のガイドライン検討のモデル都市） 			
【被害の軽減 早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・広域避難計画の策定（広域避難について検討中） ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知（電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達） ・分かりやすい教材等を用いた防災教育（水害をテーマとした防災講演） ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組（手作りハザードマップの作成） （自主防災訓練等において、ハザードマップの活用方法や避難方法の啓発） （自主防災訓練等において避難訓練や避難危険箇所の確認） （市内中学生の自主防災訓練への参加） 			

避難確保計画の作成

【北名古屋市の流域治水対策】



- 北名古屋市は、市民と行政が同じゴールをめざして協働してまちづくりを進めることで「**健康快適都市**」**誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまち**をめざす。
- 具体の施策としては、雨水による氾濫被害を軽減させるために、**幹線排水路や貯留施設排水ポンプ場の整備**を実施していく。

I - ① 幹線排水路の改修

II - ① 雨水貯留施設の整備



I - ② 排水ポンプ場の整備

対策イメージ(雨水貯留施設)



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 貯留管等の整備 (雨水貯留施設の整備) ・ 民間開発による貯留施設設置指導 (開発における雨水浸透阻害行為指導) ・ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設整備の支援) ● 内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水排水網の新設・増強 (幹線排水路の改修) ・ ポンプ場の新設・増強・機能強化 (排水ポンプ場の整備) 		
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ● 被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・ ハザードマップの更新 		



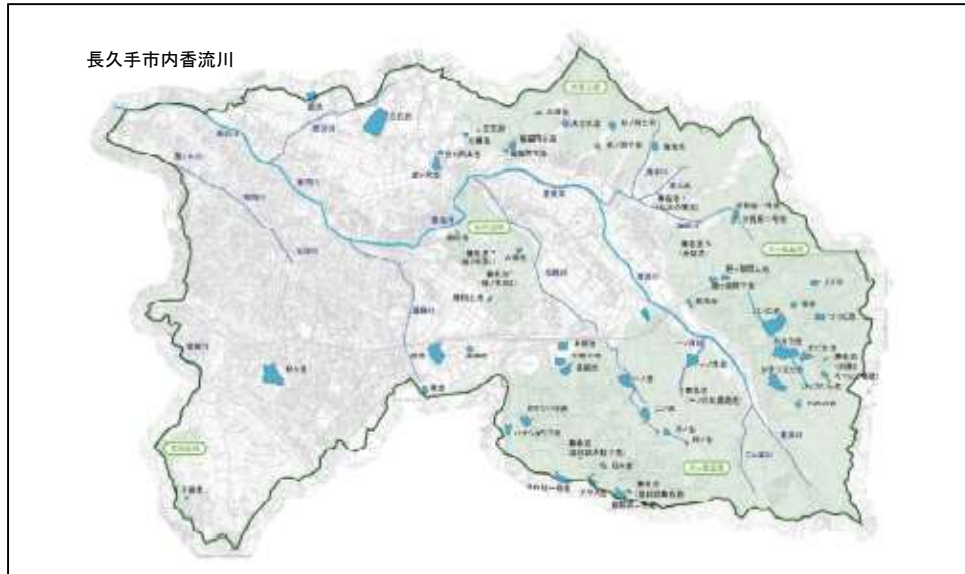
“あまデカラ”により、住みやすいまちづくりを実現するための**雨水流出抑制・防災対策推進**を図り、**AMEと共存するAMAを創る。**



※短期目標は5年程度、
中・長期目標は10～20年程度を想定

対策メニュー	
<p>【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (保全調整池及び雨水貯留浸透施設の整備) ・透水性舗装の整備 ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (雨水排水ポンプの整備) 	<p>短期</p> <p>中・長期</p>
<p>【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知 (自治体タイムラインの作成・周知) ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (高齢者等の避難確保計画の策定の推進) ・ハザードマップの更新 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・避難場所や経路等に関する情報の周知 ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (住民の防災意識向上のための取組(防災教育の推進等)) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (マイタイムラインの作成の推進) 	<p>短期</p> <p>中・長期</p>

- 万博理念を継承し、自然環境にこだわるまちづくり。
- 具体的な施策としては、水害ゼロを目指し、河道の継続的な維持管理と早期避難を可能にする。



河畔林の繁茂状況



河川カメラの設置状況

一級河川香流川

区分	対策内容	短期	中・長期
		<p>氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 ・河道掘削の調査、継続的な維持管理 	
<p>被害の軽減、早期復旧・復興のための対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保（要配慮者施設等の避難確保計画の作成） ・ハザードマップの更新 ●ソフト対策のための整備 <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（河川カメラの設置） 			

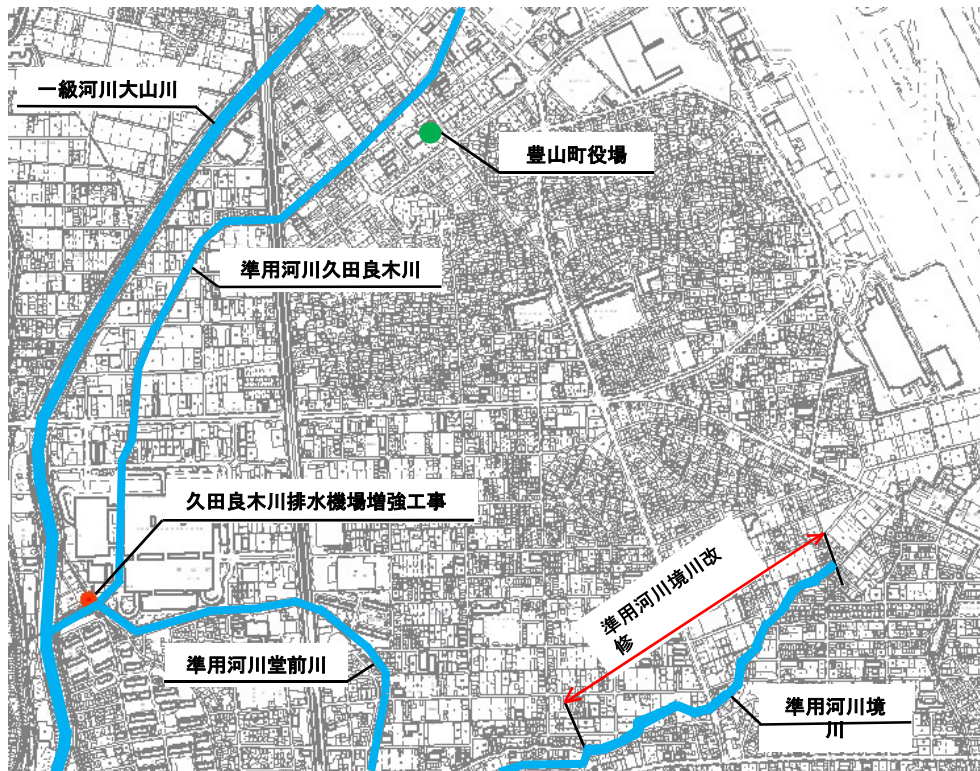
香流川を含む市内準用河川等

香流川を含む市内準用河川等

【豊山町の流域治水対策】



被害軽減を目的とした流域治水対策及び町民の防災教育の推進等を実践し、「安全・安心で住みやすさを実感できるまちづくり」の実現を目指す



平成12年東海豪雨被害状況



◆大口町では、災害に強い豊かな生活基盤の創造を目指しています！

☞ 災害などから住民の大切な生命や財産を守るために災害に強い都市基盤の整備を進めるとともに、関係者間の連携を通じて地域の自主的な防災活動の一層の充実を図り、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

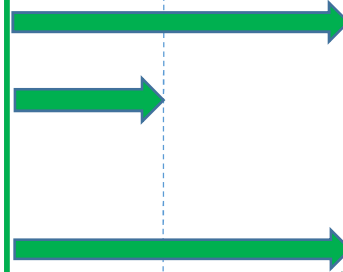
対策メニュー

短期

中・長期

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ハザードマップ更新（令和3年度更新予定）
（現行の防災マップ（地震・洪水）を更新し、新しい情報を住民に届けます。）
- ソフト対策のための整備
 - ・危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設（監視カメラ設置）
役場からほど近い五条川（平和橋）に監視カメラが設置しており、川の水位を確認することができます。
また、今後、民間企業の協力を得ながら、主要な河川のポイントに監視カメラを増設していく予定です。



☞ ■現行の防災マップ
（平成26年3月作成）

☞ ■尾張北部豪雨
（平成29年7月14日）



【扶桑町の流域治水対策】

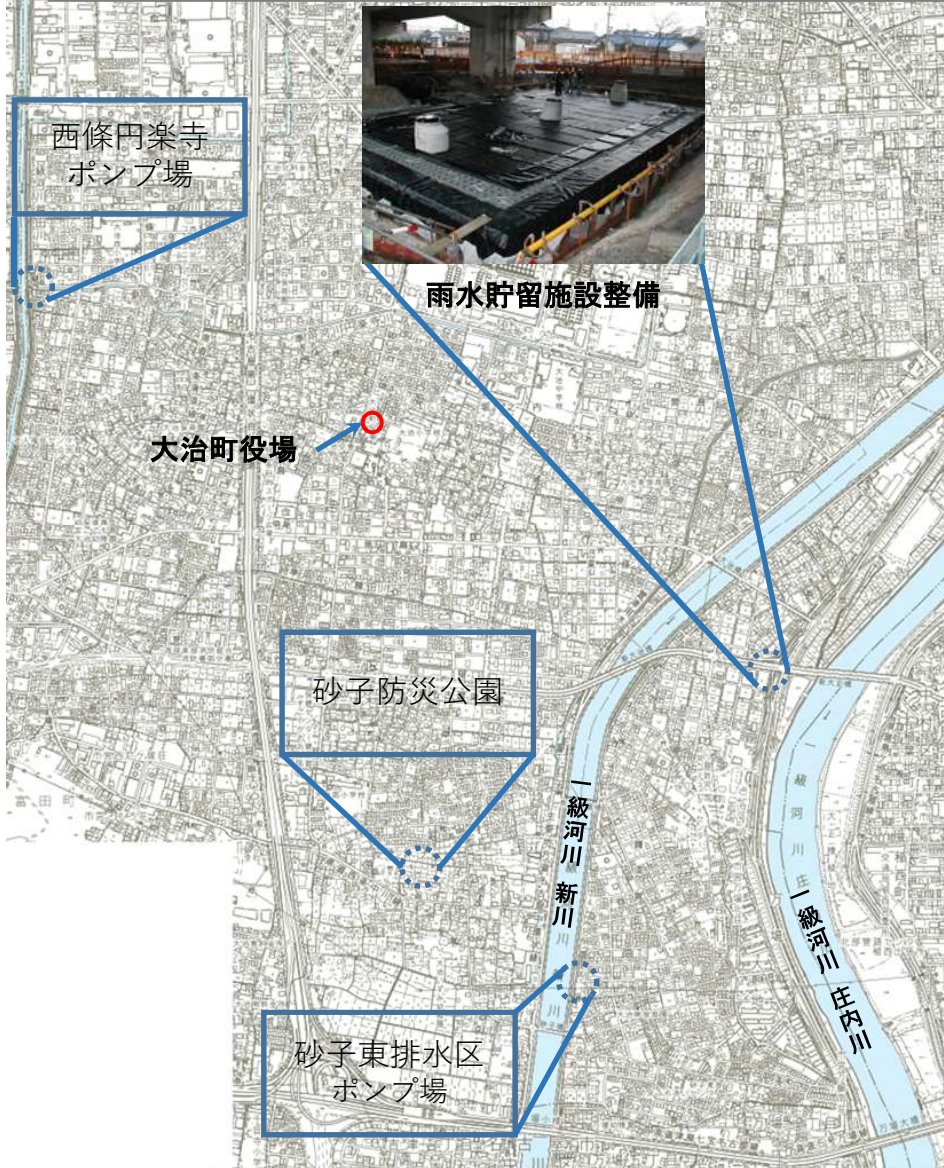


扶桑町ではみんなで“守る”まちづくりを目指し、雨水流出抑制と住民の防災意識向上を実践し下流域への流出抑制していく。



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ●流出抑制対策 ・貯留管等の整備 (貯留施設の整備計画) (貯留施設の整備・効果発現) ・民間開発による貯留施設設置指導 (民間企業等による雨水貯留浸透施設の整備) ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援 (雨水貯留施設(雨水タンク・浸透樹)設置の支援)	→	→
【被害対象を減少させるための対策】 ●浸水ハザードエリア等における各家庭への浸水防止対策 ・浸水防止塀設置の支援	→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 ●被害軽減対策 ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ●住民の主体的な避難行動を促す取組 ・避難場所や経路等に関する情報の周知 (あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供) ・分かりやすい教材を用いた防災教育等の防災意識向上のための取組 (地域防災リーダーの養成)	→	→

安全で安心して暮らせるまちづくり
 海拔ゼロメートル地域として、発生しやすい浸水被害の未然防止に努め、町民の防災意識を育む



雨水貯留施設整備

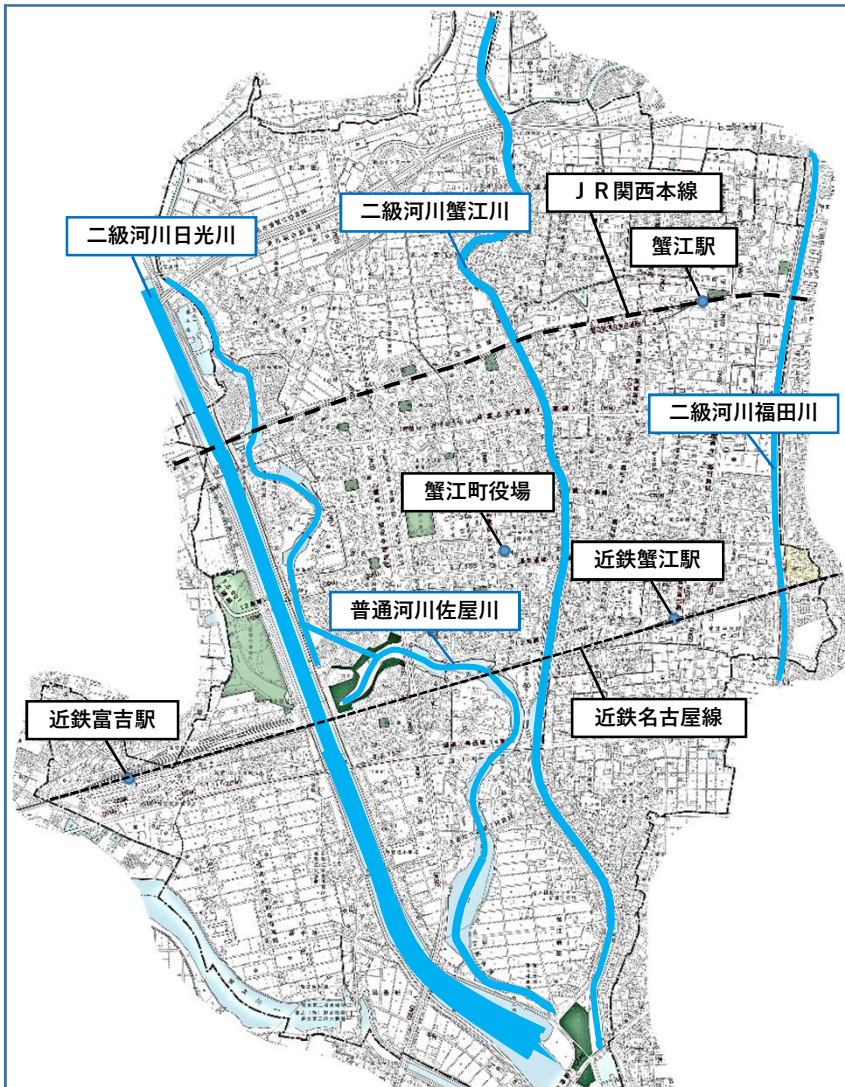
対策メニュー		短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備 (浚渫(準用河川)) ●流出抑制対策 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留管等の整備 (貯留施設機能の維持) ・民間開発による貯留施設設置指導 (開発行為に対する流出抑制指導 (貯留浸透施設)) ●内水被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場の新設・増強・機能強化 (ポンプ場の整備 (西条円楽寺地区・砂子東排水区)) 		→	→
【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●早期復旧に備えた対策 <ul style="list-style-type: none"> ・防災拠点の整備 (一次避難地となる防災公園整備) ●被害軽減対策 <ul style="list-style-type: none"> ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 (要配慮者利用施設の避難確保計画の作成 ・更新の促進) ●住民の主体的な避難行動を促す取組 <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい教材等を用いた防災教育 (小学校における防災教育の実施) ・ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組 (みずから守るプログラムによる ハザードマップ作製) 		→	→

避難確保計画の作成

【蟹江町の流域治水対策】



○蟹江町では、「豊かな環境と安全がもたらす持続可能なまちづくり」をめざす。
○具体的な施策としては、排水ポンプの増強等による内水対策や、地区防災計画の推進等による住民の防災意識向上を図っていく。



令和2年豪雨時の状況

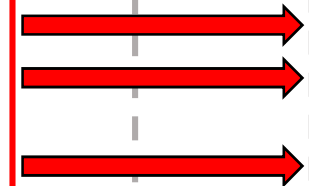
対策メニュー

短期

中・長期

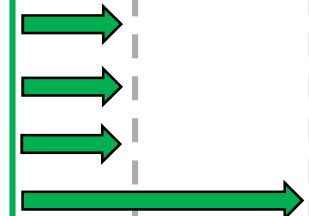
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- 流出抑制対策
 - ・貯留管等の整備
(排水路の整備、改修及び堆積土砂の浚渫)
 - ・各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援
(浄化槽雨水貯留施設転用への支援)
- 内水被害軽減対策
 - ・ポンプ場の新設・増強・機能強化
(排水ポンプの増強)



【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- 被害軽減対策
 - ・地下空間・地区タイムラインの作成・周知
(自治体タイムラインの更新)
 - ・要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
(要配慮者利用施設の避難確保計画の作成)
 - ・ハザードマップの更新
- 住民の主体的な避難行動を促す取組
 - ・ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組
(地区防災計画の策定推進、自主防災訓練の実施)



- 東海農政局では、地域の排水路としての機能を有し、河川と兼用工作物となっている農業水利施設を整備することにより、農地及び周辺居住区の湛水被害の軽減をめざす。
- 具体的な施策としては、集中豪雨や流域の都市化の進展等による降雨時の流出形態の変化に対応するため、新木津用水路の断面を拡幅し、排水機能を向上させる。

新木津用水路の断面を拡幅
(薬師川河川供用区間)

【整備前】

【整備後】

用水路の改修

◎近年の集中豪雨等により周辺の農地や家屋等に湛水被害を及ぼすおそれ

犬山市や小牧市を中心とした局地的豪雨
(平成29年7月14日豪雨)

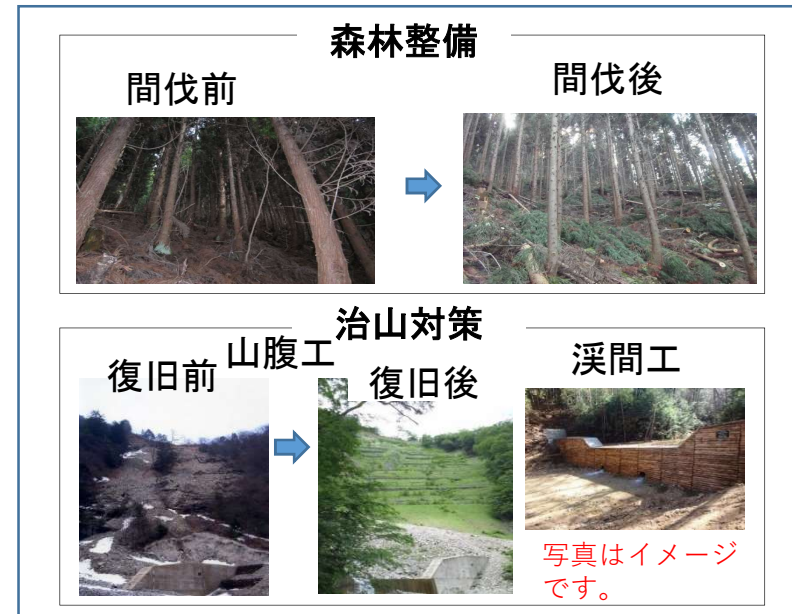
改修済区間 未改修区間

水路断面を拡幅した区間では水位が低下

対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】 ● 用排水路の改修 (新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修 (国営総合農地防災事業))		→

【中部森林管理局の流域治水対策】

- 森林地域においては、森林の有する水源かん養機能や土砂流出・崩壊防止機能の向上を図ることにより、流域治水対策を推進。
- このため、間伐等の森林整備を適時適切に実施するとともに、山地災害等により機能が低下した荒廃地・荒廃森林については機動的に治山対策を実施。



対策メニュー	短期	中・長期
【氾濫をできるだけ防ぐ ・減らすための対策】 <ul style="list-style-type: none"> ●流出抑制対策 ・森林保全 (森林整備 (間伐)) (森林の適正な管理) ●土砂災害対策 ・治山施設の整備 (治山対策) 		

流域治水とSDGs

国土交通省 庄内川河川事務所

SDGs(持続可能な開発目標)

世界共通

- 2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。
- 「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のための2030年を年限とする**17の国際目標**（その下に169のターゲット、232の指標が決められている）。

1.普遍性	先進国を含め、 <u>全ての国が行動</u>
2.包摂性	人間の安全保障の理念を反映し、「 <u>誰一人取り残さない</u> 」
3.参画型	<u>全てのステークホルダーが役割を</u>
4.統合性	経済・社会・環境に <u>統合的に取り組む</u>
5.透明性	<u>定期的にフォローアップ</u>



日本における【8つの優先課題】

①あらゆる人々が活躍する社会・ジェンダー平等の実現	②健康・長寿の達成
③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
⑤省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会	⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全
⑦平和と安全・安心社会の実現	⑧SDGs 実施推進の体制と手段

SDGsに関するハイレベル政治フォーラム(HLPF) サイドイベント

持続可能な開発目標(SDGs)に関するハイレベル政治フォーラムサイドイベントが7月にテレビ会議で開催され、日本から流域管理とSDGs達成の貢献について説明し、その取組みの重要性を訴えた。

- 1. 背景・目的** 「SDGsに関するハイレベル政治フォーラム」は、SDGs等のフォローアップとレビューを行う閣僚級の会議で毎年開催。この開催期間には多数のサイドイベントが開かれ、日本から流域管理とSDGs達成の貢献についてハイレベル向けと教育・実践者向けに提案し、それぞれ開催が認められたもの。
- 2. 日程・方法** 2020/7/7(火)(ハイレベル向け) 、7/9(木)(教育・実践者向け) いずれもオンライン
- 3. 参加者** (7/7)赤羽国交大臣、ハン元韓国首相、ナザルゾダ・タジキスタン緊急事態委員長、ボグヤイ・ハンガリー国連大使、水鳥・国連防災機関特別代表、沖・国連大学上級副学長、他
(7/9)シンケヴィチュウス欧州委員、サククス・コロンビア大学地球研究所長・国連事務総長顧問、ジュハラヤ・インドネシア公共事業・国民住宅省水資源局長、アグボガ・ガーナNGO代表 他

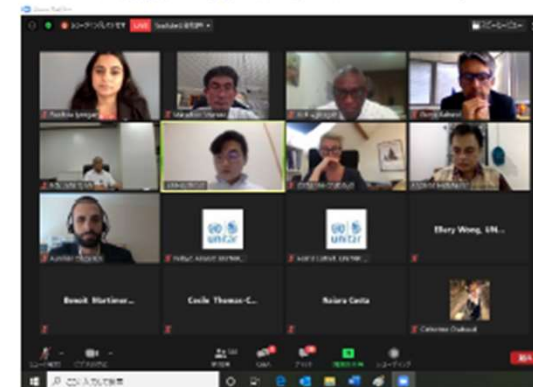
赤羽大臣によるビデオメッセージ(7日)



会議の様子(7日Webex)



会議の様子(9日Zoom)

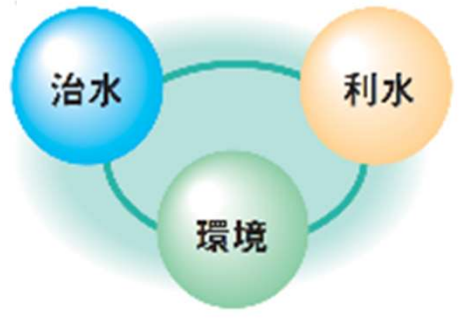


実施
結果

- ✓ 7日のイベントでは、赤羽大臣は開会挨拶において、日本政府を代表し、流域のあらゆる関係者が協働し治水を進める「流域治水」や新型コロナウイルス感染症禍における水災害リスク低減を通じ、SDGsの達成に貢献していくことをビデオスピーチを通じ発信。
- ✓ 9日のイベントでは担当者から流域治水の具体的な施策を紹介し、SDGs達成に向けた推進方策を議論。

流域治水とSDGsの親和性

河川法の理念



流域治水への転換

「流域治水」へ転換し、あらゆる関係者（国・都道府県・市区町村・企業・住民等）により、地域の特性に応じ、

- ① 氾濫をできるだけ防ぐ対策、
- ② 被害対象を減少させるための対策、
- ③ 被害の軽減・早期復旧・復興のための対策

を総合的かつ多層的に推進



統合性（経済・社会・環境）

参画型（全ての関係者）が役割



- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 1. 普遍性 | 先進国を含め、 全ての国が行動 |
| 2. 包摂性 | 人間の安全保障の理念を反映し、「 誰一人取り残さない 」 |
| 3. 参画型 | 全てのステークホルダーが役割を |
| 4. 統合性 | 経済・社会・環境に 統合的に取り組む |
| 5. 透明性 | 定期的にフォローアップ |

SDGsの主要原則

全てのゴールは直接的・間接的に関係



庄内川流域における流域治水×SDGsによる マルチステークホルダーパートナーシップの強化

- 1. 普遍性**
全ての流域で流域治水の行動を、
- 2. 包摂性**
洪水に対して「誰一人取り残さない」防災減災を、
- 3. 参画型**
流域のあらゆる関係者が役割を持つ（マルチステークホルダーパートナーシップ）、
- 4. 統合性**
流域アプローチで統合的に経済・社会・環境の課題解決に取り組む、
- 5. 透明性**
流域治水プロジェクトの進捗を流域治水協議会を通じて、定期的にフォローアップ。



SDGsに関するハイレベル政治フォーラム(HLPF)サイドイベント(2020年2年7月7日)に 日本国説明資料(国土交通省 関東地方整備局 早川潤氏)を日本語訳したもの

オブザーバーからの情報提供

1. 気象庁 名古屋地方気象台からの情報提供・・・・・・・・・・P3
2. 中部電力株式会社 事業創造本部からの情報提供・・・・・・・・P11
3. 中日本高速道路株式会社 名古屋支社
名古屋保全・サービスセンターからの情報提供・・・・・・・・P13
4. 名古屋高速道路公社 総務部からの情報提供・・・・・・・・P15
5. 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター
中部整備局からの情報提供・・・・・・・・・・・・・・・・P17

1. 気象庁 名古屋地方気象台からの情報提供

気象庁・名古屋地方気象台の防災支援の取組



名古屋地方気象台

防災気象情報の改善について

○令和元年度(平成31年度)の防災気象情報の主な改善事項

警戒レベルの導入(平成31年3月)

指定河川洪水予報等への「警戒レベル相当」追記

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/alertlevel.html>

台風進路予報の改善(令和元年6月)

予報円の大きさを従来より20%縮小

https://www.jma.go.jp/jma/press/1906/12a/20190612_typhoon_yohoen.html

「危険度分布」の通知サービスが始まります(令和元年7月)

「危険度分布」等が示す危険度の変化をメールやスマホアプリで伝えるプッシュ型の通知サービスを開始

https://www.jma.go.jp/jma/press/1907/10c/20190710_pushtsuchi_launch.html

3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表(令和元年11月)

https://www.jma.go.jp/jma/press/1911/29a/20191129_quantitative.html

危険度分布にリスク情報を重ね合わせて表示できるように改善(令和元年12月)

洪水浸水想定区域等のリスク情報を重ね合わせて表示

https://www.jma.go.jp/jma/press/1912/24a/20191224_RMonHM.html

天気の分布予報及び時系列予報を改善(令和2年3月)

分布予報の高解像度化及び予報期間の延長、時系列予報の予報期間の延長

https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/13f/20200313_bumpu.html

○防災気象情報の改善に向けた検討

防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組について

～令和元年度「防災気象情報の伝え方に関する検討会」における検討結果公表(令和2年3月)

【次頁参照】

平成30年度の改善策のフォローアップ及び令和元年東日本等の災害を踏まえたさらなる検討を踏まえた対応

https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/31a/20200331_tsutaekata_report2.html

「河川・気象情報の改善に関する検証チーム」による検証結果と今後の改善策を取りまとめ(令和2年3月)

広域で同時多発的な水害における情報発信等に係る課題について検討

https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/31b/20200331_KenshoTeam_rep.html

- 令和元年東日本台風では、大雨特別警報の解除後も引き続き大河川の洪水に対する警戒が必要であることや、台風上陸前日の「狩野川台風」を引用した記録的な大雨への警戒の呼びかけが十分に伝わっていなかった、との指摘があった。
- 「防災気象情報の伝え方に関する検討会」では、大雨時の避難等の防災行動に役立つための防災気象情報の伝え方について課題を整理し、その解決に向けた改善策をとりまとめた。

<改善策と推進すべき取組>

1. 大雨特別警報解除後の洪水への注意喚起

- 大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、警報への切替に合わせて、最高水位の見込みや最高水位となる時間帯などの今後の洪水の見込みを発表。
- 警報への切替に先立って、本省庁の合同記者会見等を開催することで、メディア等を通じた住民への適切な注意喚起を図るとともに、SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起を実施。
- 「引き続き、避難が必要とされる警戒レベル4相当が継続。なお、特別警報は警報に切り替え…」と伝えるなど、どの警戒レベルに相当する状況が分かりやすく解説。
- 中長期的には、大雨特別警報の解除に関し、防災気象情報全体を俯瞰した観点からの改善策についても検討。

2. 過去事例の引用

- 過去事例の引用は気象台が持つ危機感を伝える手段として一定の効果があることから、顕著な被害が想定されるときには必要に応じて臨機応変に活用。
- 特定の地域のみで災害が起こるかのような印象を与えないよう、災害危険度が高まる地域を示す等、地域に応じた詳細かつ分かりやすい解説を併せて実施。
- 本庁記者会見等の中で、地元にて特化した情報を取得するよう呼びかけるとともに、地元気象台等における地域に応じた詳細な解説を強化。

3. 特別警報の改善

- 大雨特別警報について、警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い指数を用いて新たな基準値を設定し、精度を改善する取組を推進。
- 大雨特別警報の予告や発表の際、特別警報を待ってから避難するのでは命に関わる事態になるという「手遅れ感」が確実に伝わる表現に改善。
- 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするものは廃止し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い(警戒レベル5相当)雨を要因とするものに統一。

<今後に向けて>

- 気象庁では、河川や砂防等の関係部局との緊密な連携の⁵⁹と、推進すべき取組に沿って可能なものから取組を推進。

4. 「危険度分布」の改善

- 適中率向上を目指し、関係機関と連携して警報等の対象災害を精査すること等により、「危険度分布」の基準の見直しを実施し、避難勧告の発令基準等への「危険度分布」のさらなる活用を促進。
- 「危険度分布」の通知サービスについて、住民の自主的な避難の判断によりつながるよう、市町村の避難勧告の発令単位等に合わせて市町村をいくつか細分した通知の提供に向けて検討。
- 台風による大雨など可能な現象については、1日先までの雨量予測を用いた「危険度分布」や「流域雨量指数の予測値」による、より長時間のリードタイムを確保した警戒の呼びかけを検討。
- 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にコッチを付けて危険度を表示するよう改善。

5. その他の改善

- 暴風により起こりうる被害や取るべき行動を分かりやすく解説。
- 暴風特別警報について、地域毎に発表基準を定めることができないか検討を進める。
- 台風が発達すると予想される熱帯低気圧の段階から、5日間先までの台風進路・強度予報を提供。
- 引き続き予報精度の向上に努めるとともに、気象情報等で、直前の予報や発表情報からの重要な変更が生じた場合には、その旨確実に強調して解説するよう改善。
- 記録的短時間大雨情報を、避難行動が必要な状況下で災害発生の危険度が急激に上昇し、真に深刻な状況になっていることを適切に伝えることができるよう改善。
- 台風時等に高潮警報のみで避難が必要とされる警戒レベル4に相当しているかを判断できるよう改善。
- 気象キャスター等が、水害・土砂災害の情報や河川の特徴等、気象情報だけでなく災害情報についても発信できるよう、河川・砂防部局等と協力し、気象キャスターや報道機関、ネットメディア等との意見交換や勉強会等の実施を通じた連携を各地で推進。

大雨特別警報から警報等への切り替え時の洪水への警戒の呼びかけ

大雨特別警報の解除
から警報等に切り替え

府県気象情報として
「河川氾濫に関する情報」の発表

令和〇年〇月〇日〇時〇分 〇〇気象台発表

〇〇県の注意警戒事項

【警報に切り替え】大雨は峠を越えましたが、〇〇川、〇〇川、〇〇川等では氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。指定河川洪水予報を公表していますのでご確認ください。

世田谷区 【継続】洪水、暴風警報
【特別警報から警報】大雨警報(土砂災害)
【解除】雷注意報

世田谷区 発表中の 警報・注意報等の種別		今後の推移(■警報級 ■注意報級)									備考・ 関連する現象
		12日 21-24	0-3	3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	
大雨	(土砂災害)										土砂災害警戒
洪水	(洪水害)										氾濫
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	30	30	25	15	18					

※今後河川氾濫の危険性が高い

令和〇年台風第〇〇号に関する東京都気象情報 第1号
令和〇年〇月〇日〇時〇分 気象庁予報部発表

大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、〇〇川、〇〇川、〇〇川等では氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。指定河川洪水予報をご確認ください。

〇〇川上流部洪水予報(臨時)
令和〇年〇月〇日〇時〇分
国土交通省 〇〇河川(国道)事務所
気象庁 〇〇地方気象台

「〇〇県の大雨は峠を越えたが、河川の増水、氾濫はこれから」

〇〇県の大雨は峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替わりますが、{〇〇川の洪水はこれからも警戒が必要です / 〇〇県、〇〇県などに降った大雨による洪水が、これから〇〇川の下流に到達します}。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 〇〇川上流部 には、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
垂川	井 (B県B市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
宇川	絵 (C県C市)	氾濫危険水位超過	水位上昇中
宇川	尾 (D県D市)	避難判断水位超過	水位上昇中
香川	木 (E県E市)	今後の水位に留意	水位上昇中

発表中の指定河川洪水予報は下記のサイトからご覧いただけます。
川の防災情報 <http://www.river.go.jp/>
気象庁HP <https://www.jma.go.jp/>

問い合わせ先
水位関係: 国土交通省 〇〇河川(国道)事務所 tel:xx-xxxx-xxxx
気象関係: 気象庁 〇〇地方気象台 tel:xx-xxxx-xxxx

河川事務所が発表する
臨時の洪水予報と同じ内容

洪水警報の危険度分布の改善



紫色のハッチが浸水想定区域

指定河川洪水予報
 【国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると思われるときに発表。】

- 高 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
- 危険度 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
- 低 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
- 注意 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
- 発表なし

- 洪水警報の危険度分布
- 極めて危険
 - 非常に危険【警戒レベル4相当】
 - 警戒【警戒レベル3相当】
 - 注意【警戒レベル2相当】
 - 今後の情報等に留意
- 洪水浸水想定区域（浸水深5.0m以上）
 洪水浸水想定区域（浸水深3.0m以上）
 洪水浸水想定区域（浸水深0.5m以上）



※令和元年12月24日より

危険度分布と浸水想定区域の重ね合わせ

※令和2年5月28日より

たんすいがた
 湛水型の内水氾濫の危険度の表示

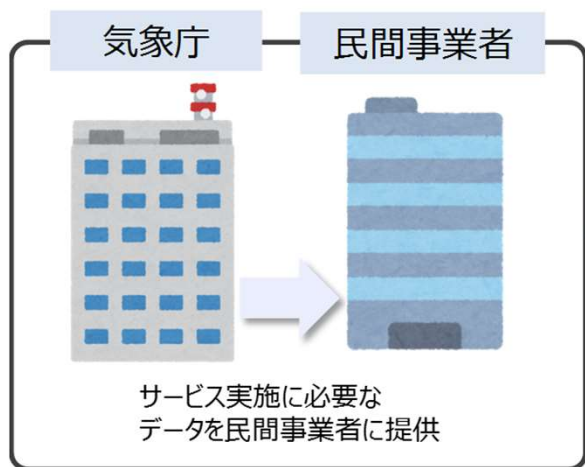
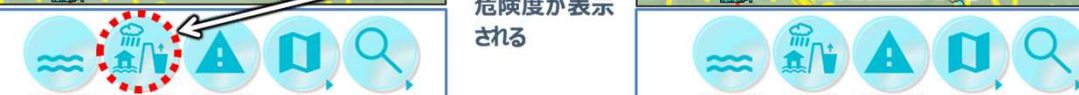
①洪水予報河川（大川）の外水氾濫の危険度（指定河川洪水予報）



③洪水予報河川の内水氾濫の危険度



「湛水型内水氾濫の危険度」のボタンを押すと、内水氾濫の危険度が表示される



「危険度分布」61の通知サービス

※令和元年7月10日より

地域の防災を支援する取り組み

県内の地域毎に担当チーム『あなたの町の予報官』を設置 ※令和2年度より

地方気象台 「担当チーム」



- ・顔を覚えてもらい緊密な関係構築
- ・緊急時対応の知見・認識を共有

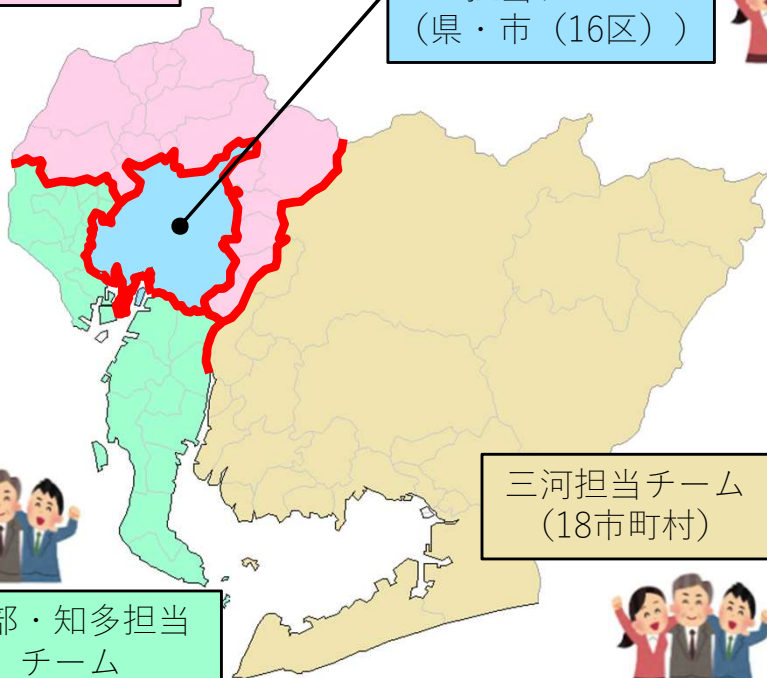
常に同じチームの気象台職員が対応、
平時から「顔の見える関係」を構築
→ “ワンストップ”での支援を実施

地域の「我が事」感をもった防災力向上に
直結する取組を、チームで推進

尾張担当チーム
(18市町村)



愛知県・名古屋市
担当チーム
(県・市 (16区))



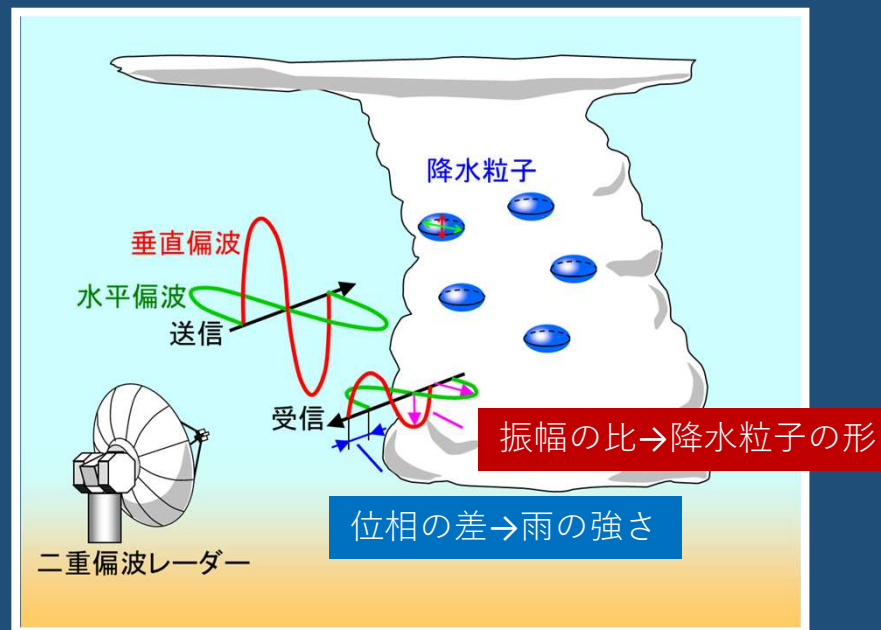
三河担当チーム
(18市町村)



海部・知多担当
チーム
(17市町村)



名古屋レーダーの二重偏波化



反射して戻ってくる電波の水平・垂直成分の違いを解析することで雨粒等の大きさや形を推定
→ より正確に雨の強さを推定

※令和3年3月頃を予定

一般向けの普及啓発の取り組み

動画によるe-ラーニング教材「大雨のときにどう逃げる？」を提供

「避難」を理解するための5つのステップ

STEP 01 | 避難を行うためのポイントを理解しよう

STEP 02 | あなたの家の災害リスクを知ろう

STEP 03 | 大雨の時の避難先

STEP 04 | 避難にかかる時間を考えよう

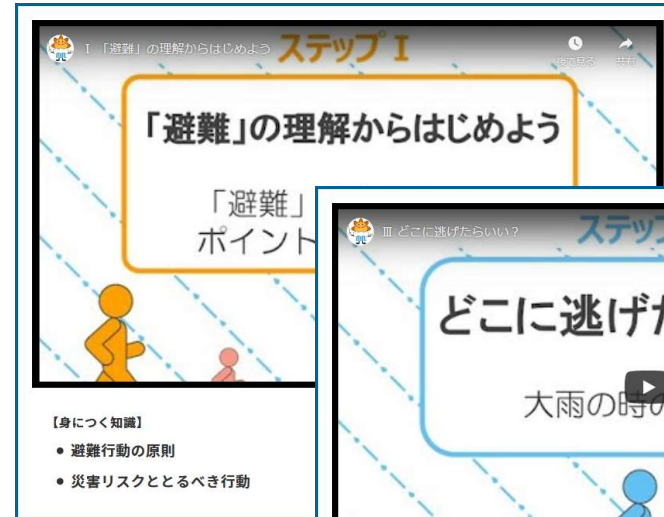
STEP 05 | あなたの避難のタイミングを考えよう



「避難」に詳しい自分

**自宅の災害リスクがわかる！
いつ、どこへ避難すべきかわかる！**

教材01～05までを順番に受講することで「避難」を理解するための5つのステップを効果的に学ぶことができます。



気象庁ホームページで
令和2年5月28日より
公開中



<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

大雨のときにどう逃げる？

2. 中部電力株式会社 事業創造本部からの情報提供

中部電力の取り組み

(1) 防災に対する取り組み (停電情報の提供)

・水道技術研究センターA-smartプロジェクト※1で行政から出された意見

台風や地震で被害が出た際に、**停電によって共同住宅のポンプが停止したことによる断水など、想定外の事象を経験した**。電力スマートメーターで**停電範囲を把握できないのか**? また将来は水道自動検針で断水範囲を把握することはできないか?

※1: IoT、AI等のICTで水道事業の課題解決を図る産官学連携のプロジェクト

・中部電力の停電情報の発信 (昨年度の台風15号を踏まえて、さらに機能アップ)

■ 停電ホームページ※2: リアルタイムの停電状況が把握できます。



【ホームページの復旧状況ステータス】

HPの復旧状況	設備確認中	工事手配中	工事中				
現場での作業工程	停電発生	停電範囲の把握確認	修理工事方法検討	修理工事手配	修理工事前	修理工事開始	修理工事完了

※作業現場では、上表のとおり復旧作業を行っておりますので、ホームページに記載する復旧状況の参考情報としてご利用ください。

① 復旧状況	「設備確認中」「工事手配中」「工事中」で復旧状況のステータスを表示
② 復旧見込	「調整中」「▲月●日中」「▲月●日午前中」等で、復旧見込み目途を表示
③ 停電理由	「土砂崩れによる電柱等の倒壊」「倒木による電線断線・電柱折損」等で、停電理由を表示

停電エリアを表示 表示単位は1km四方単位 (一部、500m四方、2km四方あり)
※地図はイメージ画像です。

■ 停電情報アプリ※2: 停電の通知が受けられます。



地域を選択 (最大5地域登録可能)

選択地域の停電情報をプッシュ配信

※2 中部電力以外から電気を購入されているお客さまも利用可能

(2) 治水に対する取り組み

・庄内川河川事務所様を含む4者様と事前放流に関する協定を締結し、流出抑制に協力しています。

3. 中日本高速道路株式会社 名古屋支社
名古屋保全・サービスセンターからの情報提供

【地域防災に関する主な事例】

NEXCO中日本名古屋支社管内の一部の保全・サービスセンター（管理事務所）と河川事務所及び自治体で、津波・高潮・洪水といった災害時における「河川堤防等の迅速な復旧」、「地域住民等の 緊急避難場所」という観点のもと協定を締結している。

①災害時の河川事務所との協定

災害時の河川堤防等の復旧のための高速道路区域の一時使用に関する協定書

(使用区域)
第3条 甲が使用できる高速道路の区域（以下、「使用区域」という。）は、次を原則とする。

高速道路	使用区域
東名阪自動車道	40.5 kp 付近（木曾川右岸堤防交差部）上下線
	42.7 kp 付近（長良川左岸堤防交差部）上下線
	43.7 kp 付近（揖斐川右岸堤防交差部）上下線
伊勢湾岸自動車道	44.2 kp 付近（木曾川左岸堤防交差部）上下線
	45.3 kp 付近（木曾川右岸堤防交差部）上下線
	46.7 kp 付近（揖斐川左岸堤防交差部）上下線
	48.0 kp 付近（揖斐川右岸堤防交差部）上下線

②災害時の自治体との協定

津波・高潮・洪水時の緊急避難における高速道路区域の一時使用に関する協定



一時使用箇所の一例（協定抜粋）【東名阪自動車道・伊勢湾岸自動車】

緊急避難場所の一例【東名阪自動車道 長島IC付近（桑名市整）】

※一時使用箇所や緊急避難場所としての活用の要望等があった場合は、立地条件や安全性等を考慮のうえで調整を実施。

4. 名古屋高速道路公社 総務部からの情報提供

名古屋高速道路公社における地域防災に関する取組事例

【地域防災に関する主な取組事例】

- ①地震等の災害時における地域との協力体制の強化を推進
- ②陸上自衛隊第10師団と地震等の災害発生時の相互協力において連携を図る協定を締結

①災害時に地域との協力体制の強化

(社)愛知県建設業協会、(社)日本橋梁建設協会、(社)建設コンサルタンツ協会中部支部と災害時における所管施設の緊急的な災害応急対策の支援に関する協定を始め、災害復旧に関する相互協力を進めている。

②陸上自衛隊第10師団との連携協定

名古屋高速道路は、現在、中部地方幹線道路協議会の道路啓開オペレーション計画で広域支援ルートに指定されており、地震発生後には緊急交通路や緊急輸送道路として速やかに道路啓開する必要がある。

一方、自衛隊法や防衛白書によると、自衛隊は、我が国の安全に重要な影響を与える事態に対応して行う安全の確保に資する活動、被害救援活動などが任務の一つとされている。

このため、名古屋高速道路公社は自衛隊と災害発生時の相互協力における連携を図ることを目的に協定を締結している。



自衛隊師団長と公社理事長による協定調印式の様子

※災害時における協定締結等については
ご相談下さい。

(立地条件、安全性等を考慮した結果、
協定締結が困難な場合もあります。)

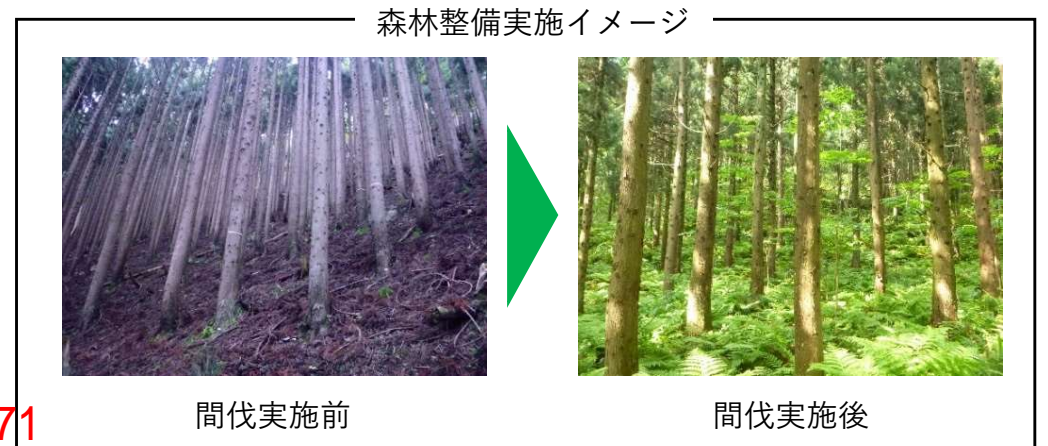


5. 国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林整備センター 中部整備局からの情報提供

流域における対策

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
- ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- ・ 庄内川流域における水源林造成事業地は、約10箇所（森林面積 約2百ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。



庄内川水系流域治水プロジェクト (各施策版)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策 . . . P. 3

被害対象を減少させるための対策 . . . P. 8

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 . . . P. 9

■堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備用水路の改修、排水機場等の新設・増強・長寿命化対策【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

取組事例

① 堤防整備、河道掘削、橋梁改築、放水路整備

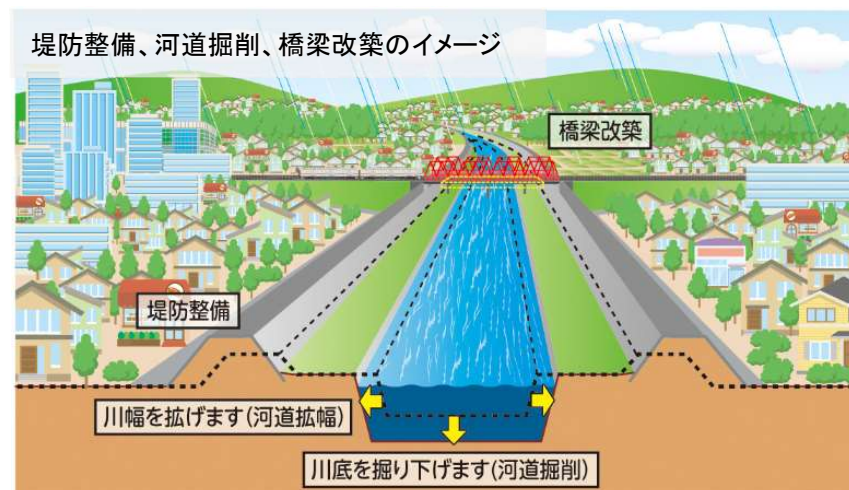
- ・ 狭窄部における橋梁改築
- ・ 準用河川・普通河川整備
- ・ 河川浚渫
- ・ 橋梁改築、堤防(護岸)整備
- ・ 河道内の樹木伐採等の実施
- ・ 河道掘削の調査、継続的な維持管理

② 用排水路の改修

- ・ 新木津用水路 薬師川河川供用区間の改修 (国営総合農地防災事業)

③ 排水機場等の新設・増強・長寿命化対策

- ・ 久田良木川排水機場増強
- ・ 地蔵川排水機場(新設)、水場川及び鴨田川排水機場(増強) 等



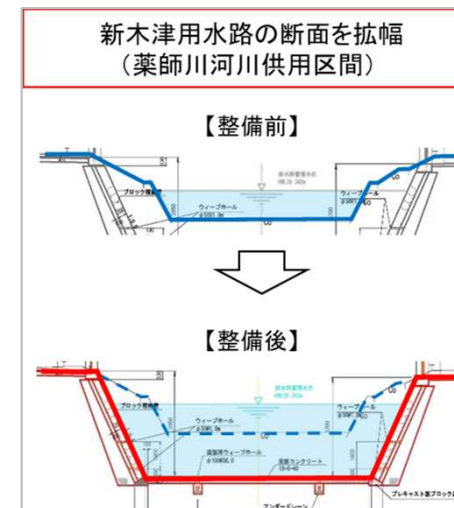
橋梁改築—狭窄部対策(庄内川河川事務所)



準用河川整備(小牧市)



堤防整備(一宮市(準)千間堀川)



用排水路の改修(東海農政局)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

多治見市^①、瑞浪市^①、恵那市^①、土岐市^①、名古屋市^{①③}、一宮市^①、瀬戸市^①、小牧市^①、長久手市^①、豊山町^{①③}、大治町^①、岐阜県^①、愛知県^{①③}、東海農政局^②、庄内川河川事務所^①

■流出抑制対策 1/2 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ① 既存ダム2ダムにおける
事前放流等の実施・体制構築・貯留管等の整備
- ② 貯留管等の整備
- ③ 民間開発による貯留施設設置指導
- ④ 各家庭等における雨水貯留浸透施設整備への支援

取組事例

- ① 既存ダム2ダムにおける
事前放流等の実施・体制構築・貯留管等の整備

- ② 貯留管等の整備

- ・ 雨水貯留施設の新設
- ・ 調整池の堆積土砂の浚渫
- ・ 貯留施設、調整池、調節池、雨水貯留施設、
雨水幹線の整備、維持、回復

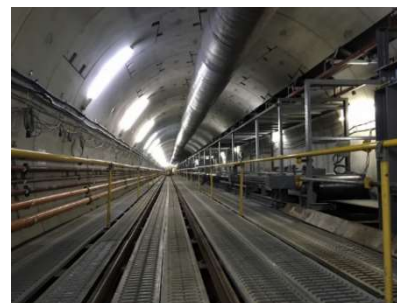
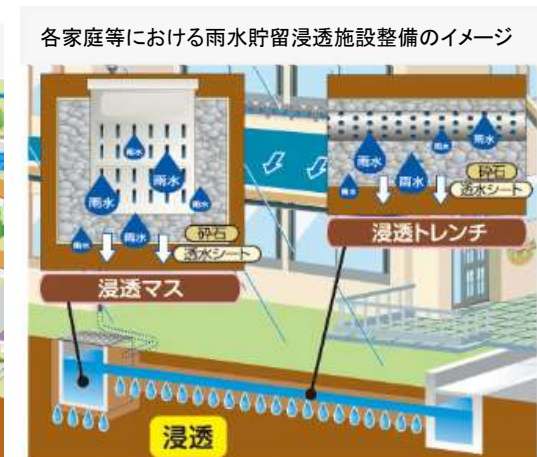
- ③ 民間開発による貯留施設設置指導

- ・ 開発行為に対する流出抑制指導

- ④ 各家庭等における

雨水貯留浸透施設整備への支援

- ・ 雨水貯留施設設置補助金交付
- ・ 浄化槽雨水貯留施設転用費補助金交付



貯留管等の整備
(名古屋市)



雨水貯留施設の整備
(北名古屋市)



雨水貯留施設の整備
(大治町)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

多治見市^{②③④}、瑞浪市^{①③}、土岐市^③、名古屋市^②、一宮市^{②④}、春日井市^{②④}、犬山市^④、江南市^{②③④}、小牧市^{②④}、
稲沢市^②、尾張旭市^②、岩倉市^②、清須市^{②③④}、北名古屋市^{②③④}、あま市^②、扶桑市^{②③④}、大治町^{②③}、蟹江町^{②④}、
愛知県^②、庄内川河川事務所^①

■ 流出抑制対策 2/2 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ⑤ ため池等の活用
- ⑥ 水田の貯留機能向上

- ⑦ 透水性舗装の整備
- ⑧ 森林保全

取組事例

⑤ ため池等の活用

- ・ 既設貯留施設(ため池等)の事前放流
- ・ 河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫等
- ・ ため池の機能強化(施設改良、耐震化)

⑥ 水田の貯留機能向上

- ・ 水田利用による雨水流出抑制対策

⑦ 透水性舗装の整備

⑧ 森林保全

- ・ 間伐等森林の整備による洪水緩和機能の保全・強化
- ・ 森林の適正な管理



河川・ため池・調節池の堆積土砂の浚渫(名古屋市)



森林保全“間伐”(恵那市)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

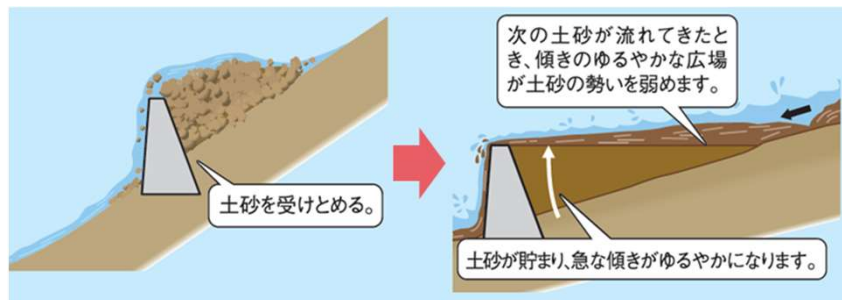
多治見市^⑤、恵那市^{⑤⑧}、土岐市^{⑤⑧}、名古屋市^⑤、一宮市^④、瀬戸市^⑤、春日井市^⑤、小牧市^{⑤⑥}、尾張旭市^{⑤⑥⑦}、清須市^⑦、あま市^⑦、岐阜県^⑧、林野庁^⑧

■土砂災害対策 【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ① 砂防施設の整備
- ② 治山施設の整備

取組事例

- ① 砂防施設の整備
 - ・ 砂防施設の整備
 - ・ 急傾斜施設の整備
- ② 治山施設の整備
 - ・ 治山施設の整備



砂防施設の整備のイメージ



＜鍛冶ヶ入川第5砂防堰堤＞
砂防施設の整備(多治見砂防国道事務所)



治山ダム工

治山施設の整備(愛知県)



治山堰堤

治山施設の整備(岐阜県)



木製校倉式ダム工

治山施設の整備(愛知県)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

岐阜県^{①②}、愛知県^{①②}、多治見砂防国道事務所^①、林野庁^②

■内水被害軽減対策【氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策】

- ① 雨水排水網の新設・増強
- ② ポンプ場の新設・増強・機能強化
- ③ 効率的なポンプ運転調整ルール of 検討

取組事例

① 雨水排水網の新設・増強

- ・ 下水道雨水管渠の整備
- ・ 排水施設の整備・維持管理

② ポンプ場の新設・増強・機能強化

- ・ ポンプの新設、機能強化、更新(耐震化、耐水化)

③ 効率的なポンプ運転調整ルール of 検討

- ・ より効果的、効率的なポンプ運転調整、排水調整ルール of 検討



雨水排水網の新設・増強
雨水排水路(多治見市)



雨水排水網の増強(名古屋市)



地蔵川排水機場の整備(愛知県)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている関係機関

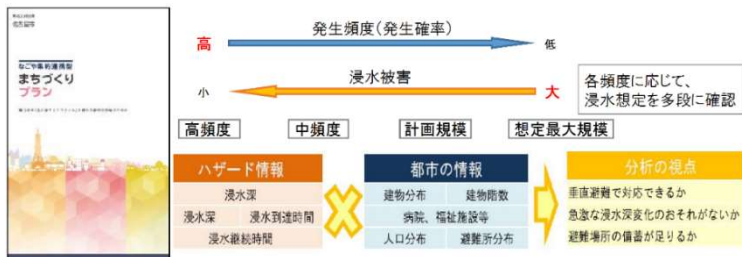
多治見市^①、名古屋市^{①②③}、一宮市^{①②}、春日井市^{①②}、犬山市^①、小牧市^①、尾張旭市^①、岩倉市^②、清須市^{①②}、北名古屋市^{①②}、あま市^②、豊山町^①、大治町^②、蟹江町^②、愛知県^③

■ 頻発・激甚化する自然災害に対応した「安全なまちづくり」に向けた取組、
 浸水ハザードエリアにおける各家庭等への浸水防止対策 【被害対象を減少させるための対策】

- ① 立地適正化計画への防災指針の位置付け
- ② 水害リスクの低い地域への居住誘導
- ③ 浸水防止塀設置の支援
- ④ 出水期前に希望する市民への土のうの事前配布

取組事例

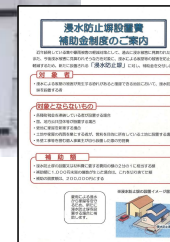
- ① 立地適正化計画への防災指針の位置付け
 - ・ 安全なまちづくりの推進
 - ・ 防災指針の検討・作成
 - ・ 防災指針のガイドライン検討のモデル都市
- ② 水害リスクの低い地域への居住誘導
 - ・ 立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への居住誘導
- ③ 浸水防止塀設置の支援
- ④ 出水期前に希望する市民への土のうの事前配布



安全なまちづくりの推進(名古屋市)



浸水防止塀設置の支援
(扶桑町)



出水期前に希望する市民への
土のうの配布(春日井市)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

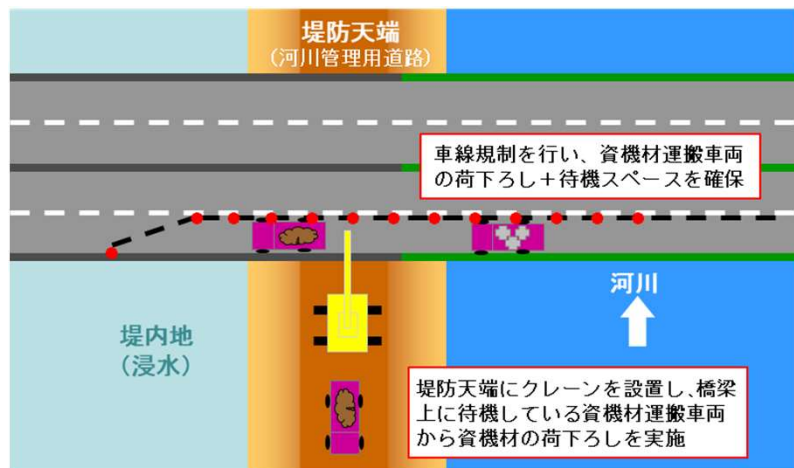
多治見市①、瑞浪市①、名古屋市①②、瀬戸市②、春日井市①④、犬山市①、尾張旭市①④、清須市①、扶桑町③

■ 早期復旧に備えた対策【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ① 防災拠点の整備
- ② 緊急河川敷道路の整備
- ③ 大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用

取組事例

- ① 防災拠点の整備
 - ・ 一次避難地となる防災公園整備
 - ・ 後方支援を担う基幹的防災拠点の整備
 - ・ 防災拠点の整備
- ② 緊急河川敷道路の整備
- ③ 大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用



大規模氾濫被害の軽減に向けた高速道路の一時利用イメージ
(庄内川河川事務所)



中日本高速道路株式会社名古屋支社
名古屋保全・サービスセンターとの締結式



名古屋高速道路公社との締結式

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

大治町①、愛知県①、庄内川河川事務所①②③

■被害軽減対策 1/2 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ① 公園等を活用した高台の整備
- ② 広域避難計画の策定
- ③ 地下空間・地区タイムラインの作成・周知
- ④ 水位周知下水道の指定・運用
- ⑤ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保

取組事例

- ① 公園等を活用した高台の整備
- ② 広域避難計画の策定
 - ・ 想定最大規模の洪水を踏まえた広域避難の策定
- ③ 地下空間・地区タイムラインの作成・周知
 - ・ 自治体タイムラインの作成、周知
(運用・住民周知・見直しの実施、地区タイムラインの作成支援)
- ④ 水位周知下水道の指定・運用
- ⑤ 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
 - ・ 高齢者避難行動計画の策定



公園等を活用した高台の整備
(名古屋市)



地区タイムラインの作成・周知
(多治見市)



地区タイムライン作成(恵那市)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^③、瑞浪市^③、恵那市^③、土岐市^③、名古屋市^{①②③④}、岩倉市^③、清須市^②、あま市^③、蟹江町^③、岐阜県^②、
全市町^⑤、多治見砂防国道事務所^③

■被害軽減対策 2/2 【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ⑥ 関係機関との連携強化
- ⑦ ハザードマップの更新

- ⑧ 水害リスク空白域の解消
- ⑨ 土砂災害警戒区域等の指定・周知

取組事例

⑥ 関係機関との連携強化

- ・ 多治見市浸水対策協議会
- ・ 土岐川流域新五流総地域委員会の開催

⑦ ハザードマップの更新

- ・ ハザードマップの作成、活用、更新、配布

⑧ 水害リスク空白域の解消

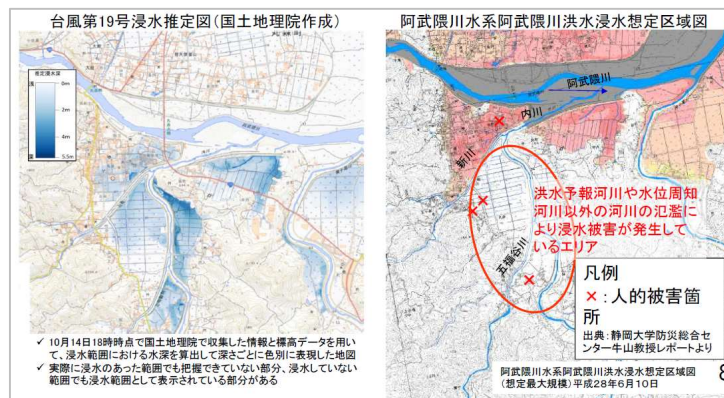
⑨ 土砂災害警戒区域等の指定・周知



土岐川流域新五流総地域委員会
(岐阜県・多治見市・瑞浪市・土岐市・恵那市)



ハザードマップの更新
(大口町)



水害リスク空白域の解消イメージ
(※国土交通省<中小河川の水害リスク評価に関する技術検討会>より)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市⑥⑦、瑞浪市⑥⑦、土岐市⑥、名古屋市⑦、瀬戸市⑦、春日井市⑦、犬山市⑦、小牧市⑦、尾張旭市⑦、岩倉市⑦、北名古屋市⑦、あま市⑦、長久手市⑦、大口町⑦、大治町⑦、蟹江町⑦、岐阜県⑥⑨、愛知県⑨、多治見砂防国道事務所⑥、庄内川河川事務所⑥

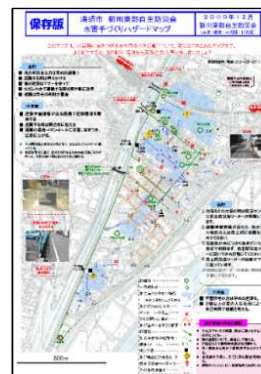
■住民の主体的な避難行動を促す取組【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

- ① 避難場所や経路等に関する情報の周知
- ② 分かりやすい教材等を用いた防災教育
- ③ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

取組事例

① 避難場所や経路等に関する情報の周知

- ・ 気象・防災情報の提供
- ・ 防災ハンドブック改訂・防災メール
- ・ ハザードマップ更新に伴う防災の手引き配布
- ・ 避難場所・経路の情報推進
- ・ 電話・登録制メール、防災行政無線による情報伝達
- ・ あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供
- ・ 土地購入時における水災害リスク情報の提供
- ・ 土砂災害関連情報配信



みずから守るプログラムによる
手作りハザードマップ(清須市)



水防訓練(尾張旭市)

② 分かりやすい教材等を用いた防災教育

- ・ 防災教育の実施
- ・ 住民防災意識向上のための取組(小学生対象の防災教育)
- ・ 住民への普及・啓発(雨水流出抑制の推進)

③ ハザードマップの周知および住民の水害リスクに対する理解促進の取組

- ・ 水防・自主防災訓練等の実施
- ・ 住民連携による施設維持(点検および操作訓練)
- ・ 手作りハザードマップの作製
- ・ マイタイムライン作成の推進



洪水避難ビル誘導標識(江南市)



防災教育(瀬戸市)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

多治見市^{②③}、瑞浪市^{①③}、土岐市^{②③}、名古屋市^②、一宮市^①、春日井市^②、犬山市^{①②}、江南市^{①②}、小牧市^{①②}、
稲沢市^①、岩倉市^{①②③}、清須市^{①②③}、あま市^{①②③}、豊山町^{①②}、扶桑町^{①②}、大治町^{②③}、蟹江町^③、岐阜県^①、
愛知県^{①②③}、多治見砂防国道事務所^③

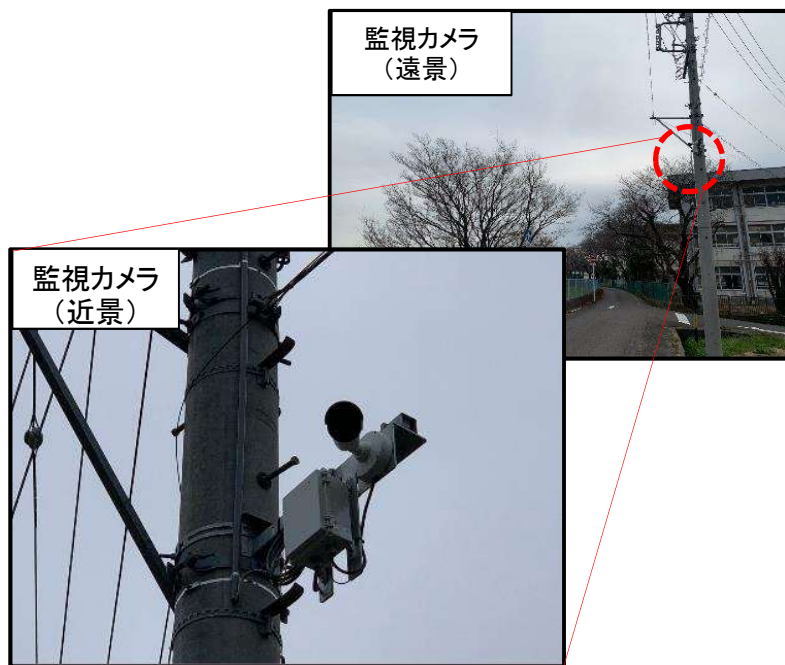
■ソフト対策のための整備【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

① 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設

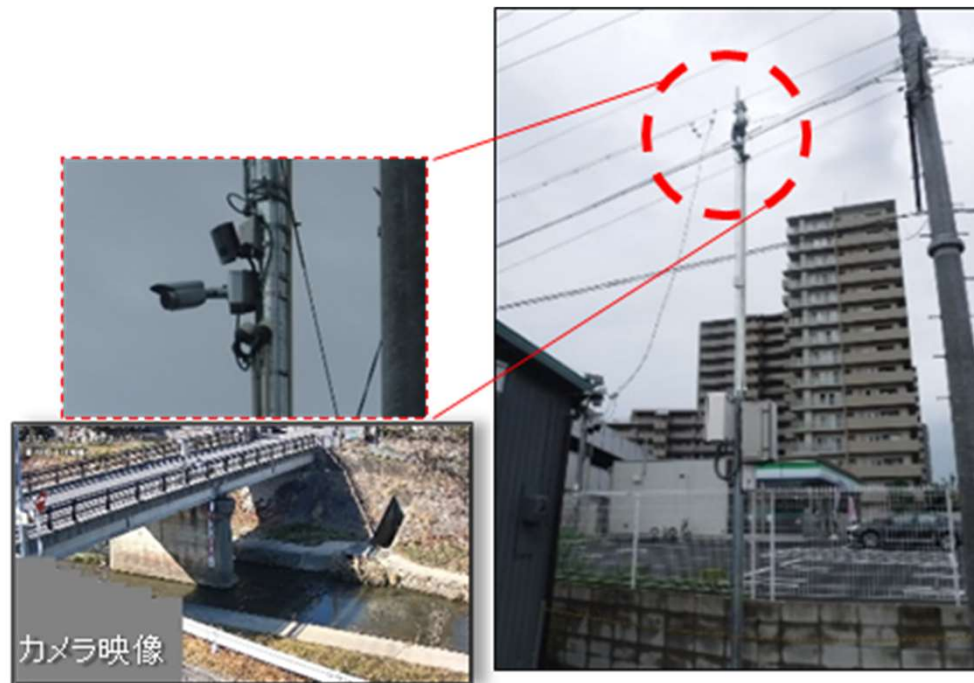
取組事例

- ① 危機管理型水位計・監視カメラの設置・増設
 - ・ ライブカメラ等による水位情報の配信

危機管理型水位計の設置・増設のイメージ



監視カメラの設置・増設(稲沢市)



監視カメラの設置・増設(長久手市)

庄内川流域治水協議会構成員のうち、上記と同様の取組を行っている市町村

土岐市^①、春日井市^①、犬山市^①、稲沢市^①、長久手市^①、大口町^①、岐阜県^①、愛知県^①、庄内川河川事務所^①